

平成26年陸別町議会9月定例会会議録（第3号）						
招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	平成26年9月11日	午前10時00分	議長	宮川 寛	
	延会	平成26年9月11日	午後3時15分	議長	宮川 寛	
応（不応）招議員及び出席並びに欠席議員	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
出席 7人	1	本田 学	○	8	宮川 寛	○
欠席 1人	2	古田 英一	○			
凡例 ○ 出席を示す ▲ 欠席を示す × 不応招を示す ▲㊦ 公務欠席を示す	3	多胡 裕司	○			
	4	野尻 秀隆	○			
	5	七戸 一登	▲			
	6	村松 正敏	○			
	7	河瀬 洋美	○			
会議録署名議員	野尻 秀隆		村松 正敏			
職務のため議場に出席した者の職氏名	事務局長 吉田 功			書記 吉田 利之		
法第121条の規定により出席した者の職氏名	町 長	金澤 紘一		教育委員長	石橋 勉	
	監査委員	飯尾 清		農業委員会長（議員兼職）	多胡 裕司	
町長の委任を受けて出席した者の職氏名	副町長	佐々木 敏治		会計管理者	芳賀 均	
	総務課長	早坂 政志		町民課長	（芳賀 均）	
	産業振興課長	副島 俊樹		建設課長	高橋 豊	
	保健福祉センター次長	丹野 景広		国保児童診療所事務長	（丹野 景広）	
	総務課主幹	空井 猛壽				
教育委員長の委任を受けて出席した者の職氏名	教育長	野下 純一		教委次長	有田 勝彦	
農業委員会会長の委任を受けて出席した者の職氏名						
議事日程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2		追加議案の取扱いについて
追加 1	議案第72号	平成26年度陸別町一般会計補正予算（第8号）
3	議案第63号	平成25年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
4	議案第64号	平成25年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
5	議案第65号	平成25年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
6	議案第66号	平成25年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
7	議案第67号	平成25年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
8	議案第68号	平成25年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
9	議案第69号	平成25年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

◎諸般の報告

○事務局長（吉田 功君） 会議に入る前に、諸報告つづりの中で、業務発注一覧表の内容について一部誤りがあったということで、修正版がお手元に届いていると思います。この修正箇所の内容について、担当課長より説明をしてもらいたいと思います。

○総務課長（早坂政志君） 皆さん、おはようございます。

会議の冒頭で大変恐縮ですが、事前に配付されておりました定例会の諸般諸報告の2枚目、諸報告つづりの4枚目になります。

平成26年度事業発注一覧表の総務課分につきまして、誤りがありましたので御報告をさせていただきます。

本日、皆様の机上に修正版を配付させていただいておりますが、修正番号6番、一番上の事業ですけれども、契約年月日が平成25年3月26日となっておりますので、平成26年6月5日に訂正をしております。それから、契約期間が平成25年4月1日から平成26年3月31日となっておりますので、こちらも平成26年6月5日から平成26年9月30日に修正をさせていただいておりますので、書面の差しかえをお願いいたします。

本件につきましては、当方の単純なチェックミスでございまして、皆様には大変御迷惑をおかけしましたことをおわび申し上げます。以後、このようなことがないように確認等十分に行ってまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（宮川 寛君） 七戸議員より、欠席する旨届け出がありました。

棟方農業委員会事務局長より、欠席する旨報告がありました。

◎開議宣告

○議長（宮川 寛君） これより、本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（宮川 寛君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、4番野尻議員、6番村松議員を指名します。

◎日程第2 追加議案の取扱いについて

○議長（宮川 寛君） 日程第2 追加議案の取扱いについてを議題とします。

本定例会にかかわり、昨日、町長から議案第72号が追加で提出されました。この件について、本日、議会運営委員会を開催し、取り扱いを協議しておりますので、委員長より報告を求めたいと思います。

村松委員長。

○6番（村松正敏君）〔登壇〕 9月定例会の運営において、追加提出のありました議案の取り扱いを、本日、議会運営委員会において慎重に協議しましたので、その結果について報告いたします。

追加のありました議案については、議案第72号平成26年度陸別町一般会計補正予算1件であります。これを本日の最初の議事日程に組み入れ、お手元に配付しております日程表のとおり審議するものといたします。

以上のとおりでありますので、議員各位におかれましては特段の御協力をお願い申し上げます、報告といたします。

○議長（宮川 寛君） お諮りします。

ただいまの議会運営委員長からの報告のとおり、議案第72号を本日の日程に組み入れて、日程表のとおり議題にしたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第72号を本日の議題とすることに決定しました。

**◎追加日程第1 議案第72号平成26年度陸別町一般会計補正予算
（第8号）**

○議長（宮川 寛君） 追加日程第1 議案第72号平成26年度陸別町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

提案理由の説明を求めます。

金澤町長。

○町長（金澤紘一君）〔登壇〕 議案第72号平成26年度陸別町一般会計補正予算（第8号）についてでございますが、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ85万円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額をそれぞれ45億9,016万円とするものでございます。

内容につきましては、副町長のほうから説明をいたしたいと存じますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第72号について御説明を申し上げます。

議案第72号平成26年度陸別町の一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところ

による。

歳入歳出予算の補正。

第1条第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

それでは、事項別明細書、歳出、5ページをお開きください。

5ページ、歳出です。

2、歳出。

2款総務費1項総務管理費11目交流センター管理費18節備品購入費、管理用備品の購入でして、85万円の計上であります。

実は、オーロラハウスの2階の厨房室にあります冷凍冷蔵庫ですが、温度調整がきかなくなってきたりまして、今、料理などを出すときにちょっと支障が出てきている状況でございます。

この冷凍冷蔵庫は、オープン時からの設置でありまして、現在21年経過をしているということもございます。したがって、部品を交換するにも部品がない。メーカーからもそのように言われております。あわせて、冷蔵用のフロンガス、それも今、国の規制によって使えないということがメーカーからも言われているということで、今更新しないと、今後、施設の運営にも支障を来すということでもございましたので、今回、追加ということをお願いをしているところであります。

財源につきましては、4ページ、歳入になりますけれども、9款地方交付税1項地方交付税、普通地方交付税で85万円を充当したいという考え方です。

なお、補正後の普通交付税の額につきましては20億7,326万6,000円です。補正後の確定額との差し引き9,482万円を留保しているということになります。

以上、簡単な説明で恐縮ですけれども、説明を終わらせていただきます。

以後、御質問によってお答えをしたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

○議長（宮川 寛君） これから、質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） なければ、これで質疑を終わります。

これから、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 討論なしと認め、これで終わります。

これから、議案第72号平成26年度陸別町一般会計補正予算（第8号）を採決します。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(宮川 寛君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第72号は、原案のとおり可決されました。

◎日程第 3 議案第63号平成25年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 4 議案第64号平成25年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 5 議案第65号平成25年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 6 議案第66号平成25年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 7 議案第67号平成25年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 8 議案第68号平成25年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 9 議案第69号平成25年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○議長(宮川 寛君) 日程第3 議案第63号平成25年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第9 議案第69号平成25年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまで、7件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

金澤町長。

○町長(金澤紘一君)〔登壇〕 議案第63号平成25年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第64号平成25年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、議案第65号平成25年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について、議案第66号平成25年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、議案第67号平成25年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、議案第68号平成25年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第69号平成25年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、以上、議案第63号から議案第69号まで、7件一括、別紙監査委員の意見を付しまして、議会の認定を求めるものでございます。

内容につきましては、副町長のほうから説明をいたしますので、御審議のほどよろしく
お願い申し上げます。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第63号から第69号について、一括説明を
させていただきます。

まず、議案第63号平成25年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてであります
けれども、資料の8をお開きいただきたいと思います。

説明資料8は、平成25年度の歳出決算資料として、各課配当別予算に係る決算の数値
であります。したがって、各科目ごとの決算額とは違いますので、その点、御理解をいた
だきたいと思います。

まずは一般会計、特別会計と分かれておりまして、まず総務課でいきますと、予算額で
すが、26億7,126万7,706円に対して決算額は25億7,741万9,959円
で、執行率は96.5%となります。ちなみに繰越明許費7,868万7,000円は、こ
れは平成26年度に繰り越しとなりますけれども、予算額の中に含まれている数字となり
ます。

それから、町民課につきましては、2億3,217万5,694円に対して2億2,83
4万5,728円で98.4%の執行率となっております。それから、町民課につきましては、
特別会計、二つの会計を持っておりまして、まず国保会計ですが、4億6,601万
6,000円に対して決算額が4億5,297万3,239円、国保会計につきましては9
7.2%の執行率となっております。それから、後期高齢者の特別会計ですが、3,750
万9,000円、決算額が3,710万3,880円で、98.9%の執行率となっております。

それから、保健福祉センターですが、予算額3億448万100円に対して決算額が2
億9,498万5,538円で、96.9%の執行率。保健福祉センターにつきましては、
介護保険特別会計も持っておりますので、2億5,628万7,000円の予算に対して2
億5,091万1,722円で、97.9%の執行率となります。

産業振興課につきましては、5億7,545万3,740円に対して決算額5億5,77
6万7,881円で、96.9%の執行率となります。

建設課につきましては、5億6,127万7,760円に対して決算額5億3,818万
2,417円として、95.9%の執行率となります。繰越明許費が1,143万4,700
円ございます。

特別会計では、簡易水道特別会計と下水道特別会計がございまして、簡易水道についま
しては、1億6,649万円に対して1億6,250万5,762円で97.6%の執行率、
下水道特別会計につきましては、1億2,530万8,000円の予算に対して1億2,3
19万5,819円、98.3%の執行率となります。

教育委員会につきましては、1億3,292万5,500円の予算に対して1億2,56

7万6,407円、94.5%の執行率です。

直診会計につきましては、4億873万5,000円の予算に対して4億175万2,715円で、98.3%の執行率。

議会につきましては、3,753万8,000円に対して3,673万9,515円でして、97.9%の執行率となります。

監査につきましては、201万9,000に対して198万8,120円で、98.5%の執行率。

選挙管理委員会につきましては、433万4,000円の予算に対して344万1,586円でして、79.4%の執行率。

農業委員会につきましては、835万5,000円の予算に対して808万9,500円の決算額で、96.8%の執行率となります。

一般会計合計45億2,982万6,500円の予算に対して43億7,263万6,651円、96.5%の執行率となります。

繰越明許費合計9,012万1,700円につきましては、平成26年度への繰り越しとなります。

それから、特別会計の合計につきましては、14億6,034万5,000円の予算額に対して14億2,844万3,137円の決算額で、97.8%の執行率となります。

下の表になりまして、一般会計と特別会計を合わせた陸別町全体の歳出決算額の表でありますけれども、予算額合計59億9,017万1,500円の予算に対して決算額が58億107万9,788円の決算額で、96.8%の執行率となります。

下に書いてあるとおり、一般会計については各課の配当決算額を記載しておりまして、一般職、特別職の人件費については総務課のほうに含まれてございますし、総務課と町民課に係る、一部出納課もありますけれども、時間外勤務手当、それらについては総務課に入っておりますけれども、それ以外については各課に配当されております。特別会計については、人件費も全て特別会計に含んでございます。

次のナンバー9をお開きください。

ナンバー9は、一般会計歳出決算額に対する財源内訳ということで、左の決算額、繰越明許費、不用額については前のナンバー8の数値と同じでございます。右側の歳出総額、財源内訳、一般財源、特定財源、これは財政状況調査から記載をしておりますので、金額は千円単位になっておりますので御了承ください。

総務課においては、25億7,742万円の歳出総額に対して、財源内訳としては、特定財源が2億2,329万4,000円、これは全課にもまたぎますけれども、特定財源としては、分担金ですとか使用料、手数料、国、道などの補助金、それから起債、基金などが特定財源として入ってきます。総務課で、一般財源として23億5,412万6,000円と、歳入が多いわけですが、これには地方交付税も入ってきますので、したがってこの分が総務課としてはふえると。そのふえた分について、各課のほうに一般財源として振り

分けられて、執行されているということになります。

それから、町民課については、2億2,834万6,000円の歳出総額に対して特定財源が7,346万5,000円、一般財源が1億5,488万1,000円。町民課も歳入が多いですが、これも町税などが入っていますので、その分、歳入がふえているということになります。

それから、保健福祉センターにつきましては、2億9,498万6,000円の歳出総額に対して、特定財源が1億5,160万6,000円、一般財源が1億4,338万円です。

それから、産業振興課については、特定財源が3億6,893万円、一般財源が1億8,883万8,000円。

建設課については、特定財源が3億2,811万5,000円で、一般財源が2億1,006万7,000円。

教育委員会につきましては、特定財源が2,927万8,000円で、一般財源が9,639万8,000円。

議会費、監査委員費については、一般財源充当となります。

選挙管理委員会につきましては、316万8,000円の特定財源。これは、昨年、参議院選挙がありましたので、その委託金が特定財源として入っています。一般財源は27万4,000円。

農業委員会につきましては、特定財源が312万9,000円で、一般財源が496万円。

合わせまして、一般会計の特定財源というのは11億8,098万5,000円、一般財源が31億9,165万2,000円となります。この一般財源、特定財源を合わせたものが、歳出総額の43億7,263万7,000円に一致します。

この下に、一般財源総額として32億7,149万円というのがございます。これは、全体の一般財源への収入になりまして、この金額と一般財源の合計31億9,165万2,000円を差し引きしますと、7,983万円が差額として出ます。つまり、これが歳入歳出差引額ということになりまして、これから決算書に出てきます数値と一致してきます。

この下、二重丸の2行目ですけれども、歳入決算額44億5,247万5,083円から歳出の決算額43億7,263万6,651円を引いた7,983万8,432円と、先ほど言った7,983万円は一致するということになります。これから繰越明許費の繰越額932万1,700円と基金積立金、財政調整基金に積んでいます、それが4,000万円ございますけれども、それを控除した3,051万6,732円が平成26年度へ繰り越しとなります。

それから、次のページ、ナンバー10になります。

ナンバー10につきましては、繰越明許費の一覧でございまして、下の表が平成25年

度からの繰越明許事業の実績一覧となります。

加工センター、住宅建設費、それぞれございまして、合わせて予算額3,940万9,500円の繰越額に対して、実績として3,857万4,750円、国庫支出金が1,305万円、不足分が一般財源として2,552万4,750円となります。

なお、加工センターにつきましては、歳出の72ページ、76ページにこの金額が出てきます。それから、住宅建設費、社会資本整備事業につきましては、繰越額ですけれども、歳出の84ページ、88ページに出てきます。それから、特定財源1,305万円については、歳入の20ページに出てきます。それから、給食センター事業の繰越額708万円については、歳出の92ページ、104ページにこの数字が出てきます。繰越合計額については、先ほど言いましたけれども、3,940万9,500円については、歳入の36ページ、歳出の108ページにこの数字が出てきます。

上の表は、平成26年度への繰越明許費事業の一覧でございます。

町有建物解体事業918万円、これは歳出の43ページに出てきます。それから、道営担い手畑地帯総合整備事業、第2トラリ地区の関係ですが225万4,700円、これは歳出の73ページ、77ページにこの数字が出てきます。それから、消防費の臨時的経費、これは消防広域化に伴う消防無線のデジタル化の負担金ですが、7,868万7,000円、これは歳出の91ページに出てきます。合わせて9,012万1,700円の繰り越しとなります。

それで、財源充当の内訳の中で、道営担い手の関係で220万円起債がございます。それから、デジタルの関係で7,860万円、合わせて8,080万円が未収入の特定財源として平成26年度に行く。それで、一般財源の合計932万1,700円、これは決算書の110ページのほうの金額と一致します。つまりこれは、収入済みの一般財源として、この財源が平成26年度に繰り越していくということになります。したがって、110ページの翌年度への繰り越しすべき財源の額と一致します。

それでは、決算書の121ページ、資料から説明をさせていただきたいと思います。

121ページは説明資料として、第1表から第6表の表とページ数を記載しております。次のページ、122ページから説明をさせていただきます。

122ページ、第1表、平成25年度歳入歳出決算の総括でありまして、予算額45億2,982万6,500円に対しまして、決算額、先ほども説明させていただきましたけれども、歳入44億5,247万5,083円、歳出が43億7,263万6,651円で、差し引き7,983万8,432円となります。先ほども説明させていただきましたけれども、この金額から翌年度へ繰り越すべき一般財源932万1,700円と財政調整基金に積んだ4,000万円、これを差し引いた3,051万6,732円が平成26年度への繰越金となります。歳入については、予算に対して98.3%の収入、歳出については96.5%の執行率となります。

第2表の歳入実績最近年度比較表でありますけれども、町税から町債までございます。

町税については、収入済額が3億68万6,268円、不納欠損額が15万2,596円、不納欠損につきましては6件であります。前年度4件でしたから、2件ふえております。それから、収入未済額153万1,466円、これは208件であります。前年度が219件でありましたので、11件の減となっております。あと、国からの交付金、地方交付税などがございますけれども、町税、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入、これは一応、通称自主財源としておりまして、平成25年度のこの合計の比率、割合は、自主財源については20.8%と、歳入の中では占めております。したがって、自主財源以外の地方譲与税から交通安全対策交付金、国庫支出金、道支出金、町債、これらは依存財源、つまり国、道への依存財源ということになりまして、陸別町が勝手に金額を決められないということがございますけれども、その率が79.2%となっております。したがって、自主財源の比率については、平成24年度から見ると2.5ポイント下回りまして、逆に依存財源のほうで2.5ポイント上がっているという状況がございます。

この表でおわかりのとおり、地方交付税については、町の歳入の中で58.2%の割合を示しているということになります。町税については、3番目の割合になります。

次の124ページ、第3表、歳出実績でございますけれども、これは各科目ごとの予算額に対する支出済額であります。

それから、第4表が町税徴収実績表でありまして、現年度分と滞納繰越分でございます。

まず、町民税の収入済額は、1億1,356万5,717円。内訳として、個人分が9,959万3,617円、法人分が1,397万2,100円、滞納繰越分については71万1,940円の収入。内訳として、個人が70万740円、法人分が1万1,200円となります。それで、町民税の現年分のところで収入未済額が53万426円ありますが、これは1法人12人、34件の未収でございます。それから、滞納繰越分の収入未済額は16人の47件分でございます。その内訳として、個人で現年分が37万4,426円ですが、12人の33件、法人分については、1法人1件、15万6,000円となります。それから、滞納繰越分のほうの個人については、まず不納欠損が1件ございます。それから、収入未済額36万2,115円で、16人の46件。それから、法人分が1法人1件の14万4,800円でございます。

固定資産税については、収入済額が1億5,763万3,600円、不納欠損が1件、1万4,700円。収入未済が18万8,000円あります。これは9人の41件。それから、滞納繰越分は収入済額が8万9,575円、不納欠損4件、10万9,800円。収入未済額については、28万525円、18人の82件でございます。

それから、軽自動車税については、収入済額が476万5,200円、未収が2万1,600円でございます。これは3人3件であります。滞納繰越分では、収入済額が1万1,200円で、未収が1件の4,000円でございます。それから、たばこ税は、2,390万

9,036円で100%の収入となります。

合計、収入済額が、現年分が2億9,987万3,553円、不納欠損が1件の1万4,700円、収入未済額が1法人24人78件、74万26円です。滞納繰越分につきましては、収入済額合計が81万2,715円、不納欠損が5件、13万7,896円、収入未済額が1法人35人130件、79万1,440円となります。

次のページ、126ページは、第5表の歳出性質分析表でありまして、これは財政状況からの表でありますけれども、この中で、昨年も説明させていただきましたけれども、人件費、扶助費、公債費、これは地方自治体の義務的経費と言われるものでありまして、これは額が13億5,888万3,000円であります。それで、先ほど説明しましたけれども、自主財源、町単独で収入できる金額ですが、これが9億2,787万5,341円ということで、義務的経費に対する支払いが町単独の収入だけではやっていけないということがこの表でわかります。

127ページは、最近5カ年の決算額調べでありますので、御参照いただきたいと思えます。

それでは、歳入の8ページにお戻りください。

決算書、歳入8ページです。

1款町税でございます。

先ほど説明させていただきましたけれども、町税、収入済額が3億68万6,268円で、99.4%の収納になります。不納欠損は6件15万2,596円、収入未済額153万1,466円で、2法人59人208件となります。

町税の1人当たりの金額をちょっと算出してみましたけれども、4月1日現在の人口ではちょっと算出できなかったものですから、直近の数字ということで、平成25年3月31日の人口で割り返ししましたところ、1人当たり11万5,117円の収入、町税となります。

それから、1項の町民税は、1億1,427万7,657円で96.4%。不納欠損が1件2万8,096円、収入未済額が103万7,341円で、2法人28人81件となります。

1目の個人ですが、現年分が9,959万3,617円、99.6%の収納率で、収入未済額37万4,426円で12人33件ですが、8月末現在で8人11件、9万8,242円が収入済であります。それから、2節の滞納繰越分70万740円、不納欠損が1件の2万8,096円で、収入未済が36万2,115円、16人の46件ですが、8月末までに4人10件7万3,289円の収入済であります。

2目の法人税について、収入済額が1,398万3,300円で、収入未済が30万800円、2法人2件でございます。現年分が1,397万2,100円で、収入未済が15万6,000円、1法人1件です。滞納繰越分は1万1,200円、未収が14万4,800円、1法人1件です。

それから、固定資産税については、1億5,772万3,175円で、不納欠損が12万4,500円。これは5件です。それから、収入未済が46万8,525円、27人123件です。それから、現年分は1億5,122万2,600円で、不納欠損が1件1万4,700円、収入未済が18万8,000円で、9人41件です。なお、8月末までに1人3件8,100円入金済みです。それから、滞納繰越分8万9,575円、不納欠損が4件10万9,800円、未収が28万525円、18人82件で、8月までに4人13件、7万9,900円が入金済みです。なお、滞納繰越分8万9,575円の中には、税滞納整理機構から2件、1万900円も入っております。

それから、軽自動車税は477万6,400円の収入で、未収2万5,600円、4人4件です。現年分で476万5,200円で未収が2万1,600円、3人3件ですが、8月までに1人1件7,200円の入金がありました。滞納繰越分1万1,200円の収入、未収、1人1件4,000円。これについても、1万1,200円の中には税滞納整理機構から1件4,000円の入金がございます。

なお、資料の11-1、2、12、13に町税の調定・収入状況調書と、それから税滞納整理機構の引き継ぎ状況、収納状況一覧、不納欠損の状況がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

次のページ、たばこ税ですが、現年分で2,390万9,036円で、これは100%の収入となります。

2款地方譲与税、自動車重量譲与税は、ここに記載の金額です。

地方揮発油譲与税も、2,294万4,000円の決算額です。

3款利子割交付金、これについても68万1,000円の決算です。

4款配当割交付金59万3,000円も、この決算で終わっています。

それから、次のページ、5款株式等譲渡所得割交付金81万円、前年度より73万1,000円ほど増となっております。

6款地方消費税交付金につきましては、2,641万円で決算を終わっております。

7款自動車取得税交付金についても、1,931万8,000円で決算を終えています。

8款地方特例交付金については、36万7,000円であります。

9款地方交付税につきましては、資料ナンバー15に、平成19年度からの推移などを載せておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

地方交付税につきましては、25億9,013万5,000円で決算を終えておりますけれども、内訳として、普通交付税が23億5,014万6,000円、特別交付税が2億3,998万9,000円で終わっております。

なお、参考までですが、先ほど町税で申し上げました平成25年3月31日現在の人口で普通交付税を割り返しますと、1人当たり89万9,750円の交付税を充てられたということになります。

それから、10款交通安全対策特別交付金、これは交通違反の反則金などを財源とし

て、一定の計算で交付されますけれども、52万3,000円の交付であります。

それから、11款分担金及び負担金553万384円。特に、ここは前年度から見ると5,580万円ほど減額になっておりますが、その要因は24年度までの農業分担金として、畜産担い手事業の受益者分担金がなくなったということで、その分が大きく落ちております。

それから、総務費分担金152万1,818円。これは、UHB、HTBの地上デジタル中継局の施設整備分担金として、平成26年度で終了の予定です。

それから、負担金の老人福祉費負担金400万8,566円。これは、老人福祉施設の入所者の措置費等の徴収金で、町外の老人ホームに入所している方の分ですが、8名分の負担金。

それから、12款使用料及び手数料、1項使用料の1目総務使用料、行政財産使用料628万9,688円。これは、役場庁舎ですとか町有地、天文台、ふるさと交流センターなど13施設の使用料になります。それから、福祉館等使用料2万4,950円。これは、目的外使用の使用料となります。それから、次のページ、17ページ、3節のタウンホール使用料14万2,350円、それから4節のふるさと交流センター使用料1,452万5,200円。これは、資料の20-1管理費内訳、それから20-2に利用状況を資料として出しておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思いますが、交流センターの利用者、平成25年度の確定が3,989人ということで、約200人弱の利用増がございました。それから、銀河の森宇宙地球科学館等使用料1,612万5,250円。これは、天文台の使用料とコテージの使用料でございまして、前年度よりも58万円ほどふえております。これは、大きい要因としては、コテージが672棟の利用がございまして、前年度より32棟の利用増がありました。したがって、その分がふえていると。

それから、2目民生使用料の老人福祉使用料259万3,800円。これは、福寿荘入居者6名分の使用料。児童福祉使用料、799万500円。これは、保育所の使用料でありまして、3世帯8万円の未収がございましたが、8月までに全額完納となっております。ちなみに、保育所のことしの3月25日卒園式現在の園児の数ですけれども、2歳児が19人、3歳児が14人、4歳児が22人、5歳児が15人で、計70人となっております。それから、福祉住宅使用料67万6,700円。これは、からまつ荘入居者6世帯分です。

それから、3目衛生使用料、保健衛生使用料220万8,870円。これは、内訳としては、公衆浴場使用料が218万8,870円、墓地使用料が2万円です。それから、水道使用料376万2,870円。これは、小利別専用水道の使用料でありまして、408件分です。

それから、4目農林水産使用料、農林水産使用料22万5,940円、これは、加工センターの使用料となります。それから、営農用水使用料506万2,150円。これは、上陸別地区の使用料449件307万4,130円、それから、トラリ地区が252件の

198万8,020円となります。

それから、5目商工使用料の公園使用料は13万982円。これは、イベント広場などの使用料であります。

6目の土木使用料1節の道路橋りょう使用料223万7,126円は、町道占用料となります。それから、その下の河川使用料6万1,782円は、町が管理する河川の占用料であります。それから、3節の住宅使用料6,605万3,100円。これは、公営住宅使用料、改良貸付住宅、特公賃貸付住宅、それらと町営住宅の滞納繰越分7万円を含んだ6,605万3,100円です。収入未済額8万2,400円は、1件であります。8月31日までに、1件1万円の入金がありました。

それから、7目の教育使用料1節の社会教育使用料6万188円は、公民館使用料と公民館の陶芸室使用料であります。それから、資料館使用料12万1,200円は関資料館の使用料、3節の学童保育所使用料74万2,000円、これは10人分です。

それから、2項手数料1目の総務手数料1節の総務手数料156万2,950円。これは、戸籍、住民基本台帳、地籍図などの証明手数料。

それから、衛生手数料578万6,826円。これは、ごみ袋の販売ですとか狂犬病予防注射などの手数料となります。

それから、13款の国庫支出金、国庫負担金の民生費負担金で、社会福祉費負担金6,889万956円。これについては、国民健康保険の保険基盤安定負担金、それから保険者支援分と障害者介護給付費負担金などの国の負担割合2分の1分の合計額が6,889万956円となります。次に、児童福祉費負担金1,854万1,475円。これは、児童手当に係る負担金が1,843万2,332円、障害者介護給付費負担金が10万9,143円です。

それから、保健衛生費負担金4万9,680円。これは母子保健衛生費負担金です。

それから、2項国庫補助金、総務管理費補助金3,934万7,000円は、TVh中継局の整備補助金2分の1分、772万1,000円、それから地域元気臨時交付金3,162万6,000円です。

それから、民生費補助金、社会福祉費補助金85万9,000円は、地域生活支援事業補助金が38万5,000円で、臨時福祉給付金の事務費補助金47万4,000円です。それから、児童福祉費補助金573万4,000円は、次世代育成支援対策交付金。これは、保育所、保育士などの人件費に充当されますけれども、その補助金です。

それから、3目の土木費補助金、1節の道路橋りょう費補助金1,487万5,000円。これは、まず、平成25年度に購入したショベルの雪寒機械の補助金が1,120万円、それから橋梁の長寿命化修繕計画の策定交付金が367万5,000円です。それから、住宅費補助金、繰越明許費で1,305万円がこの予算の中に入っておりますが、社会資本整備補助金がこの中に含まれております。

それから、教育費補助金、1節の教育総務費補助金1,606万4,000円は、教員住

宅建設補助金1,338万2,000円、それからスクールバス購入補助金が250万円、これが主なものでございます。2節の小学校費補助金3,000円。これは、特殊教育就学奨励補助金です。中学校補助金10万5,000円は、理科教育設備補助金となります。

それから、3項委託金になります。次のページ、1節の総務管理費委託金18万4,000円。これは、自衛官募集ですとか外国人在留資格届け出事務などが主なものでございます。それから、選挙費委託金316万8,233円。これは、参議院選挙の委託金でございます。

それから、民生費委託金、児童福祉費委託金1,389円。これは、特別児童扶養手当の事務委託費。それから、国民年金費委託金119万1,589円。

それから、教育費委託金の教育総務費委託金12万1,740円。これは、中1ギャップ問題未然防止事業の委託金であります。

それから、14款道支出金、道負担金、民生費負担金の社会福祉費負担金5,303万4,734円。これは、まず、民生委員活動費の補助金ですとか国民健康保険事業の保険基盤安定負担金、保険者負担分ですとか保険者支援分だとか保険料軽減分、それから障害者の介護給付費負担金、それらの道の4分の1分を含めた5,303万4,734円。それから、児童福祉費負担金418万6,226円は、児童手当に係る負担金が413万3,832円、障害者介護給付費負担金が5万2,394円の内訳となっております。

それから、2項道補助金1目民生費補助金の1節の社会福祉費補助金807万1,785円。これは、重度心身障害者医療の補助金、ひとり親家庭等の補助金、乳幼児医療費の補助金、それから冬季生活支援事業補助金、そういったものが主な内容でございます。それから、児童福祉費補助金については、186万9000円は子育て支援対策事業の補助金となります。

それから、2目の衛生費補助金1節の保健衛生費補助金18万円。これは、健康増進事業の補助金、あるいはがん検診の補助金となります。

3目労働費補助金、労働諸費補助金1,069万3,200円。これは、緊急雇用創出事業でありまして、福祉施設、介護施設の従業員確保の補助金として、それらが523万3,200円。それから、起業支援型として、コントラへの委託事業546万円となります。

それから、4目の農林水産業費補助金1節の農業費補助金7,541万5,648円は、農業委員会活動促進補助金から大きいもので中山間地域直接支払い事業の補助金、それから農地制度実施円滑化補助金、それから、地域づくり総合整備補助金として、加工センターの改修に係る補助金670万円などを含んでおります。それから、2節の林業費補助金5,118万2,577円。これは、未来につなぐ森づくり推進事業補助金ですとか小規模治山事業の補助金、林業専用道の勲祿別線の開設に係る補助金、そういったものが含まれてございます。

それから、5目の商工費補助金1節の消費者対策費補助金68万1,630円。これは、地方消費者行政活性化交付金であります。

それから、6目総務費補助金、総務管理費補助金20万円。これは、パスポート発給事務に係る補助金であります。

それから、3項委託金の1節の総務管理費委託金8万5,050円。これは、権限移譲に係る分の委託金が各項目にございます。この内訳としては、道からの権限移譲の一括交付分が3万1,050円、土地利用規制対策事業が5万4,000円です。それから、2節徴税費委託金344万2,729円は、道税の徴収に係る委託金、3節の戸籍住民基本台帳費委託金9,650円は、住民基本台帳に係る厚生調査ですとか電子署名認証に係る事務費の委託金、それから、4節統計調査費委託金は、指定統計に係る委託金23万6,000円。

それから次のページ、1節の保健衛生費委託金3万5,200円は、公害防止、浄化槽設置届に係る委託金。清掃費委託金1万4,868円は、建設リサイクル法の事務取扱委託。

農林水産業費委託金、1節の農業費委託金、金額196円です。これは、家畜伝染病の予防事務。それから、林業費委託金9万4,000円は、有害鳥獣などの捕獲許可事務。

商工費委託金2,035円は、商工会法に基づく許認可事務にかかわる委託金。

土木管理費委託金31万2,152円は、陸別川の樋門管理に係る委託金、それから建築確認調査に係る委託金が主なものです。

それから、15款財産収入、1項の財産運用収入1目の財産貸付収入。まず、先ほども説明しましたけれども、1節土地建物貸付収入2,379万7,955円。内容としては、土地建物の貸し付け、それから、一番大きいのはルナコート、産業振興住宅の貸付収入1,440万円もこの中に入っております。それから、2節の通信設備貸付収入785万7,674円。これは、光ファイバー網の貸付収入でありまして、ことしの3月31日現在は431件であります。したがって、前年度から見ると22.5件ふえております。それから、3節の機械器具等貸付収入654万円。これは、コントラへの農業機械の貸付収入です。

それから、利子及び配当金。これについては、基金関係の利子が709万4,357円、それと、農協に優先出資をしておりますので、その出資金の配当金が46万9,041円、あと、株式配当金が1万8,300円ございます。

次に、2項財産売払収入は、不動産売払収入はありません。

2目の物品売払収入、生産物売払収入30万円。これは、町有林の素材売り払い。それから、不用物品売払収入194万9,260円。これは、旧ふるさと銀河線の鉄橋撤去などに伴うレール撤去、鉄関係です。あと、枕木もございましてけれども、それらの売り払いの収入です。

16款寄附金につきましては、指定寄附金で、総務費寄附金で331万5,000円。

これは、寄附5件です。教育費寄附金91万円。これは、寄附3件です。

17款繰入金1項の基金繰入金。資料ナンバー14に年度別の比較表をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

ふるさと整備基金繰入金で2,650万円、それから、いきいき産業支援基金で6,277万円、ふるさと銀河線跡地活用等振興基金繰入金で4,940万円、町有林整備基金繰入金で900万円、地域福祉基金繰入金で1,000万円、公共施設等維持管理基金繰入金で2,260万円となっております。

それから、18款繰越金、前年度繰越金ですが、5,691万5,827円で確定しております。

それから、19款諸収入の1項延滞金加算金及び過料1目の延滞金1節の延滞金15万7,727円ですが、内訳としては、町民税8件8万1,327円、固定資産税が6件4万8,400円、法人税が3件2万8,000円、合わせて17件15万7,727円です。

なお、町税8件8万1,327円の中には、税滞納整理機構からの1万5,648円を含んでおります。

それから、2項の町預金利子ですが、これは37万4,637円で確定です。

3項の貸付金元利収入1節の家畜導入貸付金収入7,190万3,000円。内訳としては、約定償還が4,311万5,800円、繰上償還分、90頭分です。2,878万7,200円の内訳です。

それから、2目貸付金元利収入7,003万2,248円。これは、まず大きいのは、信用保証協会の貸付金が7,000万円ございます。あと、勤労者融資制度に係る貸付金の利子、それから民有林振興奨励事業貸付金の利子らが内訳となっております。

それから、3目の奨学資金貸付金収入1節の奨学資金貸付金収入68万4,000円は、8件でございます。収入未済額2万9,200円、これは1件であります。

それから、4項の受託事業収入1目の農業費受託事業収入1節の農業費受託事業収入45万7,800円。これは、第2トラリ地区の営農用水に係る監督補助受託事業の収入でございます。

それから、2目土木費受託事業収入17万7,778円は、道道の除雪に係る作業委託費でございます。

それから、5項の雑入になります。2目の弁償金1節の弁償金19万9,090円は、複写機の使用が5万2,340円、車両事故の損害賠償金9万9,750円などが主なものでございます。

それから、3目の雑入1節の介護予防支援報酬26万4,440円。これは、介護予防サービス計画の審査分、これは国保連から入ってきます。それから、2節の高齢者福祉施設負担金322万5,300円。これは、福寿荘入居者6名分の負担金。3節の電話使用料5万2,227円は、庁舎などの施設の電話料。それから、4節電気等使用料29万1,202円。これもコテージですとかテレビ中継局、加工センターなどの電気料の収入。そ

れから、5節雑入4,611万4,145円。これは、大きいものとしては、昨年も補正させていただきましたけれども、退職手当組合の事前納付金の精算還付金が100万6,000円ほどございますし、加工品等の販売収入が191万3,700円ございます。それから、交流センターの燃料使用料が358万9,000円、それから森林保険金が468万8,000円、建物共済金が330万円、そういったものが雑入として入ってきております。

それから、4目過年度収入として、1節の障害者福祉費等負担金過年度収入189万5,259円、それから2節の観測所委託謝金過年度収入8,000円。

それから、20款町債ですが、これも資料15に一覧表をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

まず、総務債8,470万円については、TVhの中継局整備、中継局の整備に770万円、それから過疎自立促進事業、過疎債ソフト事業が7,700万円。総務債については過疎債となります。資料ナンバー16に過疎ソフトの事業等一覧がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

それから、37ページ、農業債7,210万円。まず、第2トラリ地区の営農用水に係る分が3,070万円。第2トラリ地区については辺地債となります。それから、加工センター改修4,140万円。これは過疎債となります。

2節の林業債1,580万円。小規模治山、これは上陸別地区ですけれども690万円。これは一般単独の防災対策事業債です。それから、林業専用道勲祢別線の事業に890万円。これは過疎債となります。

それから、土木債の1節道路橋りょう債2,740万円。雪寒機械、ショベルの購入について740万円。これは過疎債となります。それから、町道新町8号通り道路整備事業880万円。これも過疎債です。それから、新町4号通り整備事業1,120万円。これも過疎債となります。

それから、消防債1,270万円。まず、消防ポンプ車の購入1,100万円、それから消防の救急デジタル無線整備事業170万円、これも消防債は過疎債となります。

それから、教育総務債1,400万円。これは教員住宅の建設事業に充当で、これも過疎債となります。それから、学校教育施設整備債1,550万円。これはスクールバス購入に充当で、これは辺地債となります。

最後に、臨時財政対策債1億5,007万4,000円となります。

したがって、平成25年度一般会計の歳入決算額、45億2,982万6,500円の予算現計に対して、調定額44億5,435万745円、収入済額が44億5,247万5,083円、不納欠損額が15万2,596円、収入未済額が172万3,066円で、歳入の決算を終えております。

○議長（宮川 寛君） 11時25分まで休憩いたします。

休憩 午前11時09分

再開 午前 11 時 25 分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、これから歳出、38 ページから説明をさせていただきます。

なお、資料の17の1、2に人件費の表を載せておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

1 款議会費ですけれども、決算額 5,481 万 5,422 円。これは、議会費については、議会の運営費ですとか活動費、職員 2 名分の人件費が主なものです。

それから、2 款総務費 1 項総務管理費 1 目の一般管理費 2 億 3,094 万 2,991 円で決算を終えておりますけれども、一般管理費につきましては、総務課の企画財政室の電算システムの管理事業、それから総務担当のほうの職員の福利厚生、研修、職員の人件費が主な内容であります。

39 ページ、3 節の職員手当等で 1 億 529 万 1 千 65 円の不用額が出ていますけれども、時間外勤務手当 1 億 227 万 3 千 13 円が主なものでございます。

それから、次のページに行きまして、9 節の旅費で 58 万 7,990 円。これは不用額ですが、これは普通旅費の執行残となります。

40 ページの上のほうに、職員研修、電算システム関係、パスポート発行事業とあります。パスポートについては、既に御存じかと思えますけれども、昨年 9 月 1 日から陸別町の戸籍の窓口でパスポートの発行ができるようになっております。

それから、電算システムの関係で、電算システムの更新事業、シンクライアント端末購入ほかで 4 億 488 万 8 千 50 円。これは、Windows XP から 7 への切りかえに伴いまして、平成 24 年度と平成 25 年度での事業でありましたけれども、平成 25 年度においてはパソコン等 49 台を購入をしております。

それから、19 節の負担金補助及び交付金 1 億 810 万 9,331 円。これは、北海道情報システム協議会の負担金、あるいは町村会の負担金が主なものでございます。

それから、2 目の文書広報費 5 億 548 万 2 千 61 円。これは、ここに書いてありますけれども、広報発行関係、それから町民課の広報広聴統計担当がしておりますホームページの管理ですとか、あいの鐘の維持管理、総務課の通信運搬費もこの中に入っております。

9 節から 19 節までは例年どおりの執行状況となっております。

3 目の財政管理費、需用費で 5 億 594 万 4 千 0 円。これは予算書の印刷であります。

それから、4 目の会計管理費。需用費で 5 億 673 万 3 千 67 円は、決算書の印刷に係る分です。

5 目の財産管理費 8 億 3,704 万 9,678 円。前年度より 8 億 799 万 6,000 円ほどふえております。繰越明許費 9 億 18 万円も財産管理費のほうで出てきます。この 9 億 18 万

円は工事請負費でして、これは町有建物解体で、共栄第一の旧劇場跡の解体費の繰越明許費となっております。それから、需用費で56万7,200円不用額が生じておりますけれども、大きいものとしては福祉館関係で13万4,000円ほど、それから公用車の関係で22万4,000円ほど、光ケーブルの修繕関係で11万8,000円ほど不用額として残っております。それから、委託料で78万693円の不用額が出ておりますけれども、福祉館関係で31万7,000円ほど、公共施設の除雪委託業務で35万8,000円、福祉バスの運行で8万円ほどの不用額が出ております。

42ページの財産管理費の主要事業として、ここに表を記載しております。大きい内容としては、まず総務課の各担当、総務担当、それから企画財政室、管財防災担当の業務、各基金の管理ですとか、庁舎維持管理、福祉館の維持管理、総務課が管理する公用車の維持管理、それから車両庫の維持管理、それと陸別鉄道関係が主なものです。それから町民課の税務担当の地籍図、広報広聴統計担当のテレビ中継局の維持管理、光ケーブル、地デジ関係の維持管理、それから教育委員会のタウンホールの維持管理費がこの財産管理費の中に入ってきております。

主要事業はこの表に書いてありますけれども、表の2段目、地上デジタルテレビ中継局整備事業、テレビ中継局設置工事等（TVh）1,958万2,500円。これについては、資料ナンバーの18-1、2に決算額、それから事業の概要をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

それから、表の一番下で公有財産購入、土地建物購入として、共栄第一と栄町の物件ですが、土地4筆1,213.99平米、建物4棟962.8平米、70万円。これが新たなものでございます。

それから、43ページに行きまして、24節で投資及び出資金3億円。これは、備荒資金組合への出資であります。

それから、25節の積立金3億8,257万8,939円。これは基金の積立金でありまして、資料ナンバー14に残高一覧がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

ちなみに、参考ですけれども、平成25年4月1日の人口は出せなかったものですから、3月31日の人口で割り返したら、1人当たり208万2,561円の、通称で言う貯金となります。

それから、6目の町有林野管理費、資料ナンバー19に事業収支一覧をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

44ページの表ですが、町有林管理については例年と同様の内容でありますけれども、変わった事業としては、(5)の森林保護事業、野ネズミ駆除空中散布、平成24年度までは1回だったのですが、平成25年度からは2回実施をしております。

それから、単独事業の中で土地購入費、町有林拡大事業でありますけれども、平成25年度において9万8,984平米、89万3,209円を町有林として取得をしております。

す。

それから、7目の企画費、4,149万670円です。44ページに主要事業として表がありますけれども、この中で特に陸別町地域交通推進会議交付金99万6,020円。これはバスの利用助成でありますけれども、平成25年度においては715件、延べ人員で1,088人であります。前年度から見ると、61件の減となっております。

それから、生活交通確保対策事業、これは十勝バスへの赤字補填分の補助166万5,000円ですが、これは特別交付税で8割入ってきます。

その下の通学定期差額補助事業、871万2,340円。これについては、平成25年度においては、足寄高校が24名、本別高校が13名、北見方面が9名、合わせて46名であります。前年度から見ると、6名の増となっております。

それから、地域活性化として、松本零士さんと呼んで講演会を実施しましたけれども、その経費93万8,899円。

それから、民間活用住宅ですが、平成25年度は1,780万円ということで、前年度より980万円ほどふえております。

なお、この制度は平成16年からスタートしておりまして、平成25年度までに単身者が18戸、世帯用が15戸、合わせて33戸整備されております。

それから、一番下の太陽光発電システム導入。これは、太陽光発電設置に係る補助金、2件93万6,000円であります。

次のページに行きまして、9目の交通安全対策費101万5,604円ではありますが、前年から見ると93万4,000円ほど落ちておりますが、この要因としては、平成24年度にオーロラ駐車場の縁石の補修工事がありました。それが大きな要因でありまして、報酬、旅費、11節需用費、負担金補助及び交付金については、例年どおりの執行となっております。

それから、10目の諸費は312万2,200円で、これも例年どおりの執行となっております。

それから、11目の交流センター管理費3,097万9,345円で決算ですが、資料ナンバーの1、2に管理費内訳と利用状況をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

49ページになります。13節委託料で2,042万3,544円の決算。153万6,456円の不用額が出ておりますけれども、主な要因としては、宿泊研修施設の委託料151万8,000円ほどの不用額が出ております。これは、年度途中で利用増が見込まれるということで補正をしたわけですけれども、その補正後の額よりも下回ったということになります。

48ページの表でありますけれども、先ほど歳入でも説明しましたけれども、交流センター宿泊施設のほうの利用者、平成25年度は3,989人でして、前年度から見ると、歳入では200人弱と言いましたけれども、197人の利用増がございました。

それから、12目の銀河の森管理費、6,150万621円の決算であります。なお、銀河の森管理費につきましては、資料ナンバー21に天文台の実績、それから22にコテージの利用状況をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

3節職員手当等で43万8,486円の不用額が出ておりますけれども、これは時間外勤務手当40万6,000円ほどの不用額となります。

それから、48ページの表の中で、天文台管理で入館者、今年度9,024名、入館料が261万9,100円であります。天文台については、前年度から見ると119名ほど利用者が少なかったということになります。一方で、コテージ村については672棟で、稼働率が26.3%ということで、前年度から見ると32棟の利用増がありました。

次のページに行きます。

13目の地域活性化推進費、資料ナンバー23にチャレンジプロ事業の資料をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。主要事業としては、地域活性化推進事業、地域おこし協力隊員の費用、合わせて1,861万5,149円の決算となっております。

なお、ミネラルウォーター、3万本製造しまして、平成24年度は1万5,000本でしたけれども、平成25年度では284万4,558円の販売ができました。配布先、販売関係についてはこの表のとおりでありますので、参考までに後ほどごらんをいただきたいと思います。

それから、2項の徴税费1目の税務総務費、これについては、職員人件費3人分ほか例年どおりの執行となっております。

それから、53ページ、23節償還金利子及び割引料71万5,900円。この内訳としては、町税などの還付金63万5,400円、個人2人3万1,000円、11法人60万4,400円、それから還付加算金8万500円、内訳が、個人2人4,200円、10法人7万6,300円となっております。

それから、2目の賦課徴収費については、例年どおりの執行状況でありますけれども、まず、表の中で、税滞納整理機構の負担金18万7,411円です。これについては、町税6人分の11件26万2,249円を引き継ぎまして、歳入でも御説明しましたけれども、6人9件19万6,824円を収納しております。

それから、13節委託料で284万7,453円ですが、この内訳としては、平成27年度に固定資産の評価がえがございまして、その宅地鑑定評価業務136万5,000円、それからエルタックス、これは電子申告に係る分ですが、これの共同運用保守が75万7,575円となっております。

それから、18節備品購入費で13万2,300円。これは、エルタックス用、電子申告用のパソコン1台を購入しております。

それから、3項の戸籍住民基本台帳費、1,777万6,299円で決算を終えておりますが、19節負担金補助及び交付金731万87円、52ページの表にありますけれど

も、戸籍の電算化事業の負担金630万円がこの中に入っております。戸籍電算化事業については、平成25年度と平成26年度の2カ年で整備をする予定でございます。

それから、4項の選挙費1目の選挙管理委員会費421万8,265円。これは、1節報酬から19節負担金補助及び交付金までは例年どおりの執行でありまして、2目選挙啓発費についても例年どおりの執行であります。

それから、3目の参議院議員選挙費、316万8,233円。昨年の7月に行われた参議院議員通常選挙の執行経費でありまして、国からの委託金316万8,233円と同額で決算を終えております。

次、56ページ、57ページになります。

5項の統計調査費、これは指定統計調査に係る予算執行であります。

それから、6項の監査委員費、これも例年どおりの執行となっております。

それから、3款民生費、5億3,388万5,405円で決算を終えております。内容として、1項社会福祉費で4億4,173万5,942円。前年から見ると、3,087万4,000円ほど金額が落ちてございます。1目の社会福祉総務費3億3,407万4,299円。前年度から見ると、3,070万円ほどふえております。

次のページ、58ページには主要事業として表を載せております。なお、資料ナンバー24の1、2に民生費の事業実施状況一覧をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。この表の中で、特に医療費助成、これは平成24年度から中学生まで入院、外来無料、それから障害者などの所得制限を撤廃しております。拡大に伴う対象者は、152名です。受診件数が586件、助成額として260万8,398円であります。

あと、給料、手当、共済費は、職員の人件費。

それから、扶助費で247万7,013円の不用額が出ておりますけれども、これは重度心身障害者に係る分が72万5,000円ほど、これは身体障害者の補装具分が35万9,900円、地域生活支援分が28万9,000円ほど、障害者介護給付分が24万円ほど、障害者訓練給付分が37万9,000円ほど、福祉灯油に係る分が48万1,000円ほどの不用額が出ております。

それから、23節の償還金利子及び割引料、8万5,805円。これは、金額は小さいのですが、国、道への返還金であります。平成24年度の補助金の確定に伴う返還でありまして、障害児の施設措置費が北海道へ3,309円、同じく障害児の通所給付費が国に8,496円、地域生活支援事業費、国へ7万4,000円の返還となります。

28節繰出金、8,256万1,401円。これは、国保会計への繰出金が4,807万9,401円、介護保険会計への繰出金が3,448万2,000円でございます。98万9,599円の不用額が出ておりますけれども、これは国保会計に係る分です。大きいものとしては出産育児一時金84万円がこの中に含まれてございます。

それから、2目老人福祉費ですけれども、9,256万6,200円。前年度から見ると

6,070万3,000円ほど落ちてございます。平成24年度に高齢者交流センターの建設関係、それから北勝光生会への補助金の512万8,000円ほどがございましたので、大きい減額となった要因であります。それから、資料ナンバー24-2に老人福祉費事業一覧をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。

61ページになります。

委託料で、42万3,725円の不用額が出ておりますが、これは老人の緊急通報システム設置分で19万3,000円ほど、高齢者在宅生活支援事業分で8万3,000円ほど、あと、施設周辺整備、保守管理の不用額となっております。

それから、20節の扶助費77万3,081円の不用額ですが、これは施設入所措置分、9人分の執行残となります。

それから、上の負担金補助及び交付金で187万1,255円の不用額が出ておりますが、これはデイサービスセンターの補助金の執行残が187万円ほどございます。

それから、3目の後期高齢者医療費28節繰出金1,509万5,443円。これは、後期高齢者医療特別会計への繰出金となります。

2項の児童福祉費、8,275万6,763円。前年度より281万572円の増となっております。1目の児童福祉総務費、219万2,759円ですが、これは表にもありませんとおひ、子ども・子育て支援、計画策定に係るニーズ調査委託業務186万9,000円が新規でござひますので、これがふえている要因でござひます。これは委託料です。

それから、2目の児童福祉施設費、5,386万4,004円。前年度から見ると378万6,134円ほどふえておりますが、まず、職員人件費で134万1,000円ほど増になっております。それから、7節の賃金で790万2,527円。これは臨時保育士賃金の増に伴って、前年度から見ると127万7,000円ほどふえております。

それから、資料ナンバー25に児童福祉関係実施状況一覧がござひますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。

それから、表の中で、一番上の保育所運営で、開設245日、園児70名でござひます。平成24年度は61名でしたので、実人員で9名の増と。それから、延べ人員で保育数1万5,355名ですが、前年度が1万3,507名でしたので、延べ人員で1,848名の増となっております。

それから、20節の扶助費97万7,000円は、保育ママへの利用助成であります。

それから、3目の児童措置費、2,670万円。これは扶助費でありまして、児童手当でござひます。なお、資料ナンバー26に児童手当の改正の推移などをつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。

それから、3項の国民年金費、939万2,700円。これについては、例年どおりの執行状況であります。なお、資料ナンバー27に国民年金の状況、収納率関係の資料をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思ひます。

4款衛生費、4億5,328万603円で決算を終えております。1項の保健衛生費2

億5,909万317円の決算。それで、1目保健衛生総務費5,556万8,059円。前年度より325万7,000円ほど落ちておりますが、これは職員人件費で336万9,000円ほど落ちております。それが主な要因でございます。職員手当等で59万3,576円の不用額が出ておりますが、これは時間外勤務手当で47万6,810円の不用額。

それから、2目の保健衛生施設費、2,434万8,111円の決算であります。保健センターの運営維持管理費で1,990万20円、それから公衆浴場の維持管理費が444万7,822円の内訳となっております。66ページには、公衆浴場、歩行浴施設の利用状況。浴場利用者数が9,182名で、前年度から見ると560名の減員。ただ、歩行浴利用者は773名で、逆に204名の増となっております。

それから、11節需用費、1,619万9,898円。これは、保健センターの分で1,488万6,647円、公衆浴場で131万3,251円の内訳であります。不用額で58万9,102円出ておりますけれども、これは燃料費で45万7,766円、保健センターの消耗品で8万2,000円ほどの不用額が出ております。

13節委託料、734万1,030円。これは、保健センターの清掃関係の委託、それから公衆浴場の委託が内訳でございます。なお、資料として衛生費事業実施状況一覧、公衆浴場の関係、3目の予防費の各種検診関係を28-1と2につけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

3目の予防費になりますが、1,160万1,976円で決算を終えておまして、13節委託料で1,024万5,677円で、前年から見ると170万5,000円ほど落ちております。不用額56万6,323円の内訳としては、各種検診などで19万6,943円、各種予防・健診関係で35万2,300円が出てございます。66ページ、各種検診、健康診査、予防接種、表をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

それから、4目環境衛生費、318万7,171円の決算であります。68ページの上に畜犬登録ですとか火葬場使用まで、件数、あるいは頭数を記載しておりますので、後ほどごらんください。

それから、11節需用費で33万4,366円の不用額が出ておりますが、これは火葬場の燃料費が20万8,821円、それと消耗品費が8万2,848円です。それから、13節委託料で36万7,747円の不用額。これは、火葬業務の委託費32万3,400円が主なものでございます。

それから、5目診療所費28節繰出金、1億6,438万5,000円。これは、直診会計への繰出金でして、内訳として、起債償還分が2,995万9,000円、医療機器などの整備分が151万円、財政対策分が1億3,291万6,000円であります。

それから、2項清掃費、9,755万2,808円。1目清掃総務費、これは、し尿処理に係る予算でありまして、623万1,045円で決算を終えています。68ページの表

で、し尿処理の池北三町行政事務組合への負担金、それから十勝環境複合事務組合への負担金、し尿搬送の助成金の決算額をここに記載しております。

それから、2目の塵芥処理費、9,132万1,763円。68ページの表でございますが、池北三町行政事務組合への負担金が5,507万7,000円、生ごみから小動物の収集量合計が492.1トン。前年度497.5トンですので、5.4トン減となっております。

それから、3項水道費1目の専用水道費、これは216万7,478円。小利別専用水道に係る予算でありまして、平成26年3月31日現在22戸分であります。次のページ、12節役務費から備品購入費までは例年どおりの執行となっております。

それから、2目の水道費28節繰出金、9,447万円。これは、簡易水道特別会計への繰出金です。建設改良分が5,754万円、高料金対策分が3,075万8,000円、財政対策分が617万2,000円の内訳となっております。

それから、5款労働費、1,798万470円の決算です。1目の労働諸費、106万7,741円。これは例年どおりの執行となります。

それから、2目の緊急雇用対策費、1,691万2,729円。13節委託料で、不用額814万6,565円。不用額が出ておりますが、緊急雇用対策分で809万765円がこの中に含まれてございます。70ページの表、緊急雇用対策事業ですが、621万9,529円。これは町単費の分ですが、実績としては5事業所、延べ101人であります。それから、重点分野雇用創出事業、介護施設従事者雇用事業254万1,000円、これはNPO優愛館の委託料、それから、福祉施設従事者雇用事業269万2,200円、これは北勝光生会の委託料。それから、起業支援型雇用創造事業で陸別町コントラクター利用拡大促進事業546万円。このそれぞれ三つについては、歳入同額の委託料となります。

○議長（宮川 寛君） 昼食のため、午後1時まで休憩いたします。

休憩 午後 0時01分

再開 午後 1時00分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

石橋教育委員長より、途中退席する旨、報告がありました。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、72ページから引き続き御説明を申し上げます。

6款農林水産業費、決算額が5億651万8,524円で、前年度から見ると1億3,203万円ほど落ちておりますけれども、1億円は、平成24年度に優先出資がございましたので、今年度はございませんので、その分が大きいです。

1目の農業委員会費、1,866万2,805円で323万円ほどふえておりますが、これは表にあります農地台帳整備、農地台帳地図化システム等整備事業、これは306万6,000円ですが、これがふえている大きな要因であります。

それから、2目の農業総務費、これは職員の人件費分の計上であります。

それから、3目農業振興費、1億90万1,771円。9,107万8,000円ほど落ちております。74ページは、主要事業にかかわる事業を記載をしております、先ほど言いました農協への優先出資が1億円ほど、この中から落ちていると。

それから、19節負担金補助及び交付金の104万6,479円の不用額の内訳ですけれども、農業近代化資金、中山間の51万2,328円、それから今言った農業近代化資金17万円ほど、それから農業関係の融資制度の利子補給14万6,700円ほど、これらが大きな要因となっております。

それから、4目の畜産業費7,058万6,012円で、1億1,004万円ほど落ちております。この表がありますけれども、74ページ、下から2行目の優良家畜導入支援、家畜導入貸付金5,507万円ですが、これは資料の29をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。それと、平成24年度において、畜産担い手育成総合整備事業、それから哺育センターの堆肥舎建設で約7,794万円ほど、平成24年度はございましたので、それらの減額が大きな要因であります。

それから、5目農地費、912万7,115円。これは、主要事業の表にございます排水整備、法面整備が主なものでございます。

それから、次のページ、6目の営農用水管理費、これは上陸別地区の営農用水とトラリ地区の営農用水の管理費でございまして、上陸別地区については、ことしの3月31日現在で30戸、トラリ地区については18戸であります。4,120万5,480円の決算額ですが、この内訳としては、上陸別地区については597万9,010円、トラリ地区については3,522万6,470円の維持管理費の内訳でございます。

それで、11節の36万6,789円の執行残、消耗品費が20万6,000円、修繕料で12万9,000円ほどの不用額が出ております。13節委託料では、56万9,120円の不用額ですが、管路などの修繕が30万1,000円、施設保全作業で14万6,000円、周辺整備で6万7,000円ほど、水道メーター取りかえで5万1,000円ほどの不用額となっております。それで、19節で繰越明許費225万4,700円、これは第2トラリの営農用水の関係でして、これは平成26年度への繰越となります。

それから、7目の公共草地管理費、1,168万4,034円。これは、町の公共草地の維持管理費でございしますが、15節で工事請負費926万1,000円。これは、表にありますトラリ地区の公共草地の配電線路の高圧開閉器取りかえですとか配電線路の改修工事が内容でございします。

8目農畜産物加工研修センター管理費ですが、76ページに187万9,500円。これは、平成24年度からの繰越明許費であります。決算額が7,892万1,284円であります。平成25年度において、加工センターの増改築なり機器類の更新をしております、それらの経費が約6,263万5,000円ほど、前年度から見るとふえている状況にございます。資料ナンバー30の1と2に、利用実績と備品購入一覧表をつけております

ので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

それから、2項の林業費1目の林業振興費、6,007万3,978円の支出済額ですが、78ページの表にありますとおり、森林保護で一番上の野ねずみ駆除補助金、平成24年度までは1回だったのですが、平成25年度から2回散布するという事で221万7,000円ほど、前年度から見ると事業費がふえているということになります。それと、野ネズミ駆除ですとか民有林造林促進事業、未来につなぐ森づくり推進事業については、資料ナンバー31をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。それから、担い手対策、これと次のページにあります補助金関係については、資料ナンバー32をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。それから、80ページで、表の治山の上陸別地区小規模治山事業、1,367万1,000円。前年度から見ると721万3,000円ほど、平成25年度において工事請負費でふえております。

それから、2目の狩猟費、619万4,410円。前年度より72万9,788円ほど減額になっておりますが、一方では、この80ページの表がございますが、鹿からノウネまで、1,288件ということで、前年度から見ると227件ほどふえている状況がございます。ちなみに、鹿については806頭ということで、前年度から55頭、カラスが84羽、それからヒグマが2頭、キツネが49頭ほどふえております。

それから、3目の林道新設改良費、3,493万5,030円。委託料で52万9,250円の残がありますが、これは林道維持管理に係る不用額となります。それから、表にありますけれども、林業専用道、勲祢別線の設計、それから支障木伐採、これは台風26号による被害ですけれども、1,773万300円と62万1,600円を足した1,835万1,900円は委託料の中に入っております。

次のページ、商工費になります。

7款商工費、1億5,162万7,164円。前年度から見ると、2,528万4,932円ほどふえてございます。1目の商工総務費、2,090万8,872円。商工総務費については、職員の人件費の計上であります。

2目の商工振興費、1億556万5,692円。まず、19節負担金補助及び交付金で330万3,608円の不用額がございますが、内容としては日産自動車購入助成に係る不用額が96万2,000円、中小企業融資制度の不用額が94万9,664円、それから中小企業の経営安定化資金の残が89万円、商工会の補助金47万4,000円が内訳の主なものでございます。

それから、3目の観光費1,688万3,711円の執行ですが、この表の中にもございますけれども、観光協会の補助金474万円。前年度から見ると126万円ほどふえております。これは、りくべつ鉄道祭の前夜祭として花火大会を実施しておりますので、その分の補助金の増がございます。

それから、4目の公園費、758万6,259円。これは、例年どおりの執行となりま

すけれども、表にごございますイベントセンターの研修室の床改修207万9,000円が、前年度から見るとふえている要因になっています。

それから、5目の消費者対策費68万2,630円で、この表にごございますけれども、消費生活相談窓口開設が23回、それから消費生活支援事業、くらし塾ですが、これが68万2,630円。それで、窓口開設23回で、相談者は延べ16名でありました。その結果、未然防止したものが1件、返品処理したものが1件あると聞いております。

それから、8款土木費、4億1,649万4,847円。前年度から見ると、5,108万2,130円の減額となっております。資料ナンバー33に建設課所管に係る建設工事一覧表をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

土木総務費については、職員の人件費が主なものでございます。不用額、手当で30万8,130円ありますが、時間外勤務手当24万1,559円が主なものでございます。

2項の道路橋りょう費、1億8,553万8,008円。前年度から見ると、5,127万4,179円の減額となっております。86ページには、主要事業として、道路台帳の作成、修正、町道40路線、農道2路線、林道6路線の内容であります。それから、除雪ドーザ、ショベル13トン級1台を購入しております。ちなみに、平成24年度においては、除雪トラック7トン車、それからミニホイールローダーなどで、合わせて3,693万8,000円ほど前年度より落ちているのは、これが主な要因となります。

それから、11節需用費で107万3,255円の不用額がありますが、これは修繕料で24万4,595円、車両などの消耗品82万8,600円が主なものです。それから、役務費で58万3,510円の不用額ですが、車両検査などで47万2,510円、保険料などで7万460円が主なものです。それから、22節補償補填及び賠償金で299万5,230円。これは、昨年7月17日のグレーダーの事故にかかわる損害賠償額、賠償金でありまして、昨年の11月1日の臨時会において議決をいただいたものでございます。

2目の道路維持費、1億1,200万2,171円です。86ページの表に主要事業として記載をしております。なお、13節委託料6,993万6円、工事請負費の3,625万6,500円、合わせて1億618万6,506円。これは、86ページの各舗装、補修から縁石の取りかえまでの事業費の合計額と一致いたします。それから、委託料で424万3,994円の不用額。これは、除排雪業務の執行残。それから、使用料及び賃借料で31万5,000円の不用額。これは、産業機械借り上げ料の未執行でございます。

それから、3目橋りょう維持費、525万円。これは委託料であります。橋梁の長寿命化修繕計画策定業務87橋に係る分であります。

それから、4目の道路新設改良費2,256万2,294円で、前年度から見ると3,510万4,000円ほど落ちてございますが、大きいものとしては新町8号通り歩道改修改良工事882万円ですが、前年度においては2,572万5,000円の事業費であります。あわせて、平成24年度で8号通りの歩道改良、それから共栄線交通安全施設整備、

これは明渠分ですけれども、これらの事業費が平成25年度はないために、今言った3,500万円ほどの減額となっている内容であります。

それから、6目の街路灯費810万8,078円ですが、街路灯につきましては、平成25年度末で199基となっております。この表の中の工事、336万円については工事請負費の事業内容であります。

それから、3項の河川費、62万7,780円。河川総務費については、例年と同じ内容の執行であります。

それから、4項の住宅費、ここで3,045万円の平成24年度からの繰越明許費がございます。

1目住宅管理費で1,626万1,516円。公営住宅の管理状況、それから公営住宅の修繕状況は、表に記載したとおりでございます。この目については、例年どおりの執行の内容となっております。

それから、2目の住宅建設費8,769万3,760円ですが、繰越明許費3,045万円がございます。これも平成24年度からの繰越明許費でありまして、新町団地整備1棟2戸分の繰越明許費となっております。

それから、5項の下水道費、8,322万2,000円。これは、下水道特別会計への繰出金となります。

9款消防費でありますけれども、19節負担金補助及び交付金で1億6,442万9,000円。大きい事業としては、90ページの表にございますけれども、消防救急無線デジタル化負担金、実施設計分で180万5,894円、それと消防ポンプ車の更新1,197万円がございます。消防費の内訳としては、まず本部共通経費が635万円、それから常備消防費が1億2,111万7,000円、非常備消防費が1,310万1,000円、消防施設費で2,386万1,000円の、合わせて1億6,442万9,000円となっております。それで、平成26年度に繰り越しする7,868万7,000円は、消防広域化に係るデジタル無線の整備負担金でございます。

それから、2目の災害対策費105万9,899円で、228万9,000円ほど前年度から落ちてございますが、平成24年度において、防災情報共有システム設置委託金と北海道総合行政情報ネットワーク負担金241万8,000円の事業がございました。平成25年度においては、この表に記載している防災行政無線のリモコン機器の改修ですので、それらの分の差し引きで減額となっているものでございます。

それから、10款教育費、2億6,608万6,854円。前年度から見ると、2,281万5,209円の増となっております。

1目の教育委員会費、162万7,480円。1節報酬から19節負担金補助及び交付金については、例年どおりの執行状況の内容であります。

2目の事務局費、1億255万4,323円。前年度より2,901万5,738円ほどふえておりますが、これは92ページの表にございますけれども、教職員住宅1棟2戸

2,842万2,500円、これが大きな要因となっております。奨学資金貸付につきましては、平成25年度においては大学2名、高校2名、合わせて84万円でしたが、平成24年度においては大学が3名、高校生2名でした。その差額24万円が前年度より落ちているということになります。

それから、職員手当で85万3,430円ほど不用額がありますが、これは時間外勤務手当78万3,722円が主な要因であります。

それから、3目の教育振興費、675万7,173円。主要事業については、この記載のとおりでございます。新たなものとしては、学校教育振興の3行目、中一ギャップ問題未然防止事業12万1,740円、それから一番下の児童生徒芸術鑑賞事業、これは2年ごとですが、67万2,420円の事業、これは報償費のほうに入っております。

それから、4目のスクールバス運行管理費4,869万3,771円で、前年度より2,151万2,138円ほどふえております。要因としては、96ページの表にございますけれども、スクールバスの更新、38人乗り1台1,994万640円が前年度と比較して増額となっている主な要因であります。スクールバスの運行状況におきまして、延べ人員の利用者数が1万4,163名ですが、前年度は1万5,644名でして、1,481名ほど延べ人員で落ちているということになります。

それから、5目の教育研究所費、35万4,160円。報酬から負担金補助及び交付金は、例年どおりの内容の執行であります。

2項の小学校費、2,491万2,205円。前年度より401万3,000円ほどふえております。1目の学校管理費1,877万5,760円で、77万3,000円ほどふえておりますけれども、主な要因としては11節需用費で燃料費関係がふえていると。一方で、不用額は84万8,661円、燃料費で82万1,913円の不用額となっております。

それから、次のページ、2目の教育振興費、613万6,445円。324万円ほどふえてございますが、これは、98ページの表の一番下にございますが、コンピューター整備333万7,625円、これが備品購入費でございますので、これが前年度と比べて増になっている要因であります。資料ナンバー34にコンピューター整備事業一覧がございますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

3項中学校費、3,148万3,202円。前年度から見ると、3,413万9,313円ほど減額となっております。1目の学校管理費、2,345万4,154円。ここは職員人件費が主なものでございます。3節職員手当13万376円の不用額、これは時間外勤務手当11万円ほどが主なものであります。それから、11節需用費で1,028万952円。不用額で271万6,048円が生じておりますけれども、これは燃料費267万8,378円が主な要因でございます。それと、中学校費の学校管理費でいけば、平成24年度において、中学校の外構工事が3,780万円ほどございましたので、それが大きな減額の要因となっております。

それから、次のページ、2目の教育振興費、802万9,048円。前年度より384万9,000円ほどふえておりますが、これは、100ページの表の一番下、コンピューター整備521万7,775円、備品で、上の教材費と合わせて615万9,898円でございます。これも資料ナンバー34にコンピューター整備事業一覧がありますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

それから、4項社会教育費、2,293万5,885円。前年度から見ると、186万5,000円ほど落ちております。1目の社会教育総務費、1,238万2,111円。報酬から12節役務費までは例年どおりの執行状況でございます。13節委託料で40万4,000円。これは、木やり太鼓2個の皮張り39万9,000円を含んでございます。100ページの表で、中学生の海外派遣303万2,820円で、平成25年度は14名ですけれども、前年度から見ると1名ふえて、14名でございます。その下の冒険・体感inとうきょう事業17名、111万8,236円。人数は、平成24年度も17名で増減はございません。それから、19節負担金補助及び交付金で不用額28万6,271円。これは、冒険・体感inとうきょうの22万4,764円の執行残が主なものでございます。

それから、2目の公民館費、972万3,397円。公民館の管理から視聴覚室整備までについては表に記載したとおりでありまして、報償費から19節負担金補助及び交付金までは例年と同様の執行の内容です。

ちなみに、需用費で60万869円の不用額がございますが、これは燃料費53万8,125円が主なものでございます。

3目の文化財保護費、83万377円。1節報酬から19節負担金補助及び交付金までは例年どおりの執行でありますけれども、負担金補助及び交付金で3万8,000円、前年度から見ると182万円ほど落ちてございます。これは一番大きいのは、昨年度、関寛斎没後100周年の記念事業182万円ほどございますので、それが大きな減額の要因となっております。

5項保健体育費1目の保健体育総務費、279万56円の決算であります。1節報酬から次のページの19節負担金補助及び交付金までは、例年どおりの内容の執行でございます。スポーツ推進委員から団体活動育成まで表にしてございます。

それから、2目の体育施設費、1,400万5,397円。前年度から見ると、105万8,990円ほど落ちてございます。表の体育施設以下については、平成24年度において、町民運動場の防風林の伐採ですとか野球場の階段塗装、それらが257万1,000円ほど落ちてございますが、一方では、パークゴルフ場の表示板改修49万3,500円、それからホーキングマシン用ブラシ交換修繕42万円ほど新規に、前年度から見るとふえております。その差し引きで105万8,000円ほど落ちているのが要因でございます。

それから、3目学校給食費、997万3,202円。表にございますように、学校給食

センターの基本設計、実施設計で708万円が平成24年度からの繰越明許費になってございます。その基本設計、実施設計については、13節委託料と同額でございます。

それから、11款災害復旧費1項の農林水産業施設災害復旧費1目の農業用施設災害復旧費は、平成25年度は災害などがございませんでしたので、例年どおりの執行となっております。

それから、2項公共土木施設災害復旧費についても、災害等がございませんでしたので、例年どおりの執行となっております。

それから、12款公債費1目元金23節償還金利子及び割引料、元金の償還が4億2,253万18円。資料ナンバー15に起債残高の推移がございます。後ほどごらんをいただきたいと思います。

ちなみに、これも参考までですけれども、平成25年の4月1日の人口がわかりませんでしたので、3月31日現在の人口で割り返した1人当たりの借金ということになりますが、171万4,875円であります。

それから、2目利子、償還金利子及び割引料、6,081万9,280円。不用額で54万3,720円ございますが、一時借入れをしておりますので、その利息分54万3,000円が主なものでございます。

それから、13款予備費については、2件、27万5,500円でございます。

歳出合計45億2,982万6,500円の予算額に対して、支出済額が43億7,263万6,651円、繰越明許費が9,012万1,700円、不用額6,706万8,149円で歳出を終えてございます。

流用件数は3件、16万6,000円でございます。

続いて、110ページです。

平成25年度陸別町一般会計決算書実質収支に関する調書。これは、1,000円単位でございます。

1、歳入総額が44億5,247万5,000円、2の歳出総額が43億7,263万7,000円、差し引き7,983万8,000円。4の翌年度へ繰り越しすべき財源、(2)の繰越明許費繰越額932万2,000円。これは、先ほども資料で説明させていただきましたけれども、平成26年度の繰越明許費9,012万1,700円のうち、財源として未収入特定財源、起債分ですが、8,080万円を引いた932万1,700円、四捨五入で932万2,000円ですが、これが収入済みの一般財源として計上しております。この金額を引いた実質収支が7,051万6,000円で、4,000万円を財政調整基金に積んでおります。

それから、財産に関する調書でございます。

1の公有財産で、(1)の土地及び建物、アの総括、行政財産、普通財産とございますが、この内訳として、112ページ、119ページに行政財産の資料、それから113ページ、120ページに普通財産の資料がございます。あわせて、有価証券については1

14ページ、出資による権利は115ページ、物品、備品については116ページ、117ページ、債権及び基金、基金については3月31日現在ですが、118ページにそれぞれございます。後ほどごらんをいただきたいと思います。

以上で議案第63号の説明を終わりました、次、議案第64号の説明に移ります。

議案第64号平成25年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について説明をいたします。

説明資料の157ページをお開きください。

説明資料でございます。

次の158ページになります。

第1表、国民健康保険事業状況最近年度比較表でございます。25年度の欄を御参照いただきたいと思います。

事務職員、保健師数、診療所施設は変更ございません。給付期間、保険税徴収回数も変更ございません。年間平均世帯数が485戸、前年度から見ると16世帯落ちてございます。それから、年間平均被保険者数822人、43人前年度から落ちてございます。1世帯当たり税調定額が16万9,017円、前年度から見ると2,976円落ちてございます。1人当たり税調定額9万9,724円、これは逆に107円ほど前年度よりふえております。それから、1人当たり療養諸費費用額41万8,265円、これは前年度からまたふえておりまして、1万4,106円ふえてございます。それから、受診率についても1,547.3、109.3前年度からふえていることになってございます。

それから、第2表、平成25年度歳入歳出決算の総括。

予算額、4億6,601万6,000円、決算額、歳入が4億6,785万8,767円、歳出が4億5,297万3,239円、差し引き1,488万5,528円。これが平成26年度への繰越金となります。歳入の予算に対する割合は100.4%、歳出の執行率は97.2%でございます。

それから、第3表は、歳入実績比較一覧でございます。

国保税については8,226万1,501円の収入済み、不納欠損は31万8,800円、これは1人でございます。収入未済額が335万2,215円、37人140件でございます。あと、国庫支出金、療養給付費交付金、前期高齢者交付金といきまして、8の繰入金金が5,807万9,401円、前年度から見ると2,053万4,277円増となっております。

歳入については、予算が4億6,601万6,000円に対して4億6,785万8,767円の決算で終わってございます。収入済額でいけば、前年度から見ると1,065万3,763円の減額となっております。

それから、第4表の歳出実績最近年度比較表でございます。

この中で、2の保険給付費2億8,629万4,372円、前年度から見ると468万2,894円ほど落ちてございます。それから、6の介護保険納付金1,850万5,80

6円で、前年度から見ると198万8,296円ほどふえてございます。合計で4億5,297万3,239円の支出済額となっております。

それから、第5表が国民健康保険税収納額最近年度比較表でございます。

それから、第6表が5カ年間の決算額調でございます。これは、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

それでは、134ページをお開きください。

歳入ですが、資料ナンバー35の1から4まで、国民健康保険事業の状況一覧及び収支決算一覧をつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思っております。

1款国保税ですが、収入済額が8,226万1,501円、前年度より320万8,048円落ちてございます。調定に対する収納率は95.7%、不納欠損が1人31万8,800円、収入未済額が335万2,215円で37人の140件です。

1目の一般被保険者国民健康保険税、7,769万3,285円ですが、前年度から見ると118万7,858円落ちてございます。収納率は95.5%、未収が169万3,513円。19人77件ですが、8月までに10人27件52万500円が入金済みでございます。それから、滞納繰越分、195万2,414円。前年度より67万円ほどふえてございます。この中には税滞納整理機構から3件34万9,814円も含んでございます。不納欠損額が1人31万8,800円、収入未済額が165万8,702円、18人の63件でございます。そのうち、8月末までに4人9件29万1,000円が入金済みでございます。

それから、退職関係ですが、456万8,216円、前年度より202万円ほど落ちてございます。現年度分で453万9,016円、これは100%の収納、滞納繰越分2万9,200円、これも100%の収納となっております。

ちなみに、一般被保険者数ですが、平成25年度においては465世帯、被保数で788人でございます。平成24年度においては483世帯、被保数が822人ですので、18世帯34人の減員ということです。それから、退職につきましては、平成25年度の世帯数が26世帯、被保数が41人、平成24年度が20世帯38人ですので、6世帯3人ふえている状況でございます。

それから、2款の国庫支出金1目の療養給付費等負担金ですが、8,478万620円でございます。現年度分で8,442万8,965円、過年度分で35万1,665円です。これは、平成19年度分の精算による追加交付分35万1,655円でございます。

それから、2目の高額医療費共同事業負担金429万2,446円、3目特定健康診査等負担金43万3,000円で、1節の特定健康診査等負担金が42万9,000円、それから2節の過年度分で4,000円。これは、平成24年度分の精算による追加交付分となります。

それから、2項国庫補助金の1目財政調整交付金、収入済額3,456万6,000円ですが、普通調整交付金が1,849万9,000円、特別調整交付金が1,606万7,000

0円であります。この1,606万7,000円の中には、直診会計への繰出金1,565万1,000円を含んでございます。

それから、2目の高齢者医療制度円滑運営事業補助金1節の高齢者医療制度円滑運営事業補助金、金額1万1,000円と少ないのですが、これは医療費の自己負担割合1割の延長に伴う経費で、高齢者受給者証の更新費用に充てられます。

それから、3款の療養給付費交付金、1節の現年分、1,391万8,000円でございます。

4款の前期高齢者交付金7,821万2,738円でございますが、これは平成23年度の概算の金額が、2年後の平成25年度で精算されます。その金額でございますが、内訳としては、平成23年度の概算交付額が8,120万4,781円、それで精算額が7,529万1,183円、591万3,598円が超過分となります。一方で、平成25年度の概算額が8,413万392円ですので、今の超過分を差し引いた7,821万6,794円、それと平成23年度分の精算調整額4,056円を引いた7,821万2,738円となります。

それから、5款の道支出金1項道負担金1目の高額医療費共同事業負担金429万2,446円となります。それから、特定健康診査等負担金42万9,000円、それから過年度分4,000円、これは平成24年度分の精算による追加交付。

それから、2項道補助金の財政調整交付金2,139万4,000円ですが、普通調整交付金が1,456万7,000円、特別調整交付金が682万7,000円、このうち直診会計への繰出金49万7,000円を含んでございます。

それから、6款の共同事業交付金1目の共同事業交付金、1,122万5,204円。

それから、2目保険財政共同安定化事業交付金、4,924万4,690円であります。

それから、7款財産収入の利子及び配当金4万8,941円は、基金の利子でございます。

それから、8款の繰入金1項の他会計繰入金、4,807万9,401円でございます。内訳としては、一般会計からの繰入金が4,807万9,401円で、1節の保険基盤安定繰入金1,527万241円ですが、内訳としては、まず保険料の軽減分1,235万3,975円、この内訳としては、道からの4分の3分、926万5,481円、町負担分4分の1、308万8,494円です。それから、保険者支援分、291万6,266円。内訳は、国が4分の2、145万8,133円、北海道4分の1分、72万9,066円、町4分の1分、72万9,067円の内訳となっております。その他一般会計繰入金、3,280万9,160円。これは、まず出産育児一時金、これは国保の出産はございませんでした。したがって、先ほど一般会計でも説明しましたが、この出産育児一時金に係る繰出金が不用額として残ってございます。それから、事業費分が491万5,160円、財政対策分が2,789万4,000円となっております。

それから、2項基金繰入金、これは国保の基金の繰入金ですが、1,000万円ござい

います。平成25年度末現在で、1,486万5,931円の残額となっております。

それから、前年度繰越金が2,366万5,210円。

10款諸収入の1項延滞金加算金及び過料1目の一般被保険者延滞金43万7,300円。21人32件でございます。この中には、税滞納整理機構から9万6,900円含まれてございます。

次のページになります。

2項雑入です。56万3,270円ですが、まず3目の一般被保険者返納金1万3,040円ですが、これは3医療機関からの5件の診療報酬の返還金でございます。それから、4目の退職被保険者等返納金5,500円、これも同様に2医療機関から3件の診療報酬の返還金でございます。

それから、5目の雑入1節雑入54万4,730円。内訳としては、健診個人負担金が44万2,500円、指定公費負担金1万6,739円、それから超高額医療費共同事業交付金8万5,491円でございます。

歳入合計として、4億6,601万6,000円の予算額に対して、調定額4億7,152万9,782円、収入済額が4億6,785万8,767円、不納欠損額が31万8,800円、収入未済額が335万2,215円で歳入の決算を終えてございます。

次のページ、歳出に移ります。

1款総務費、453万4,189円。1項の総務管理費、407万9,045円。1目一般管理費で360万2,592円。これは、144ページの表にございますが、国保情報データベースシステムの更新、それから電算システムの改修153万6,750円、これが前年度からふえている要因でございまして、9節旅費から25節の積立金4万8,941円までは例年どおりの執行となっております。積立金の4万8,941円は、基金への積み立てとなります。

それから、2目の連合会負担金47万6,453円は、例年と同様でございます。

2項の徴税費、40万9,394円。十勝圏複合事務組合に負担金として22万589円を負担をして、2人4件54万2,714円を引き継ぎましたが、2人3件34万9,814円を収納してございます。

それから、3項の運営協議会費1目の運営協議会費4万5,750円。これは、1節報酬から次のページの9節旅費までは例年どおりの執行となります。

それから、2款保険給付費1項療養諸費の1目一般被保険者療養給付費、19節ですが2億3,862万8,086円です。前年から見ると501万5,055円ほどふえてございます。これは、一般の被保険者1万1,762件分で、費用額が3億2,642万8,458円の中の保険者負担分が2億3,862万8,086円ということになります。

それから、2目の退職被保険者等療養給付費1,087万3,632円で、前年度から見ると605万9,000円ほど落ちてございます。退職被保険者744件分の費用額1,553万4,060円の保険者負担分が1,087万3,632円となっております。

それから、3目の一般被保険者療養費、19節ですが130万390円でございます。一般が176人でして、件数で204件でございます。

それから、4目退職被保険者等療養費、19節、5万9,507円。退職者9件の分でございます。

それから、5目審査支払手数料は、56万7,915円。

2項の高額療養費、一般被保険者分が3,376万9,840円、一般被保険者458件分の高額療養費となります。

それから、退職者分が104万4,824円。退職被保険者12件分の金額104万4,824円でございます。

それから、3目の一般被保険者高額介護合算療養費、178円。1人分でございます。

それから、4項の出産育児諸費で出産育児一時金ですが、予算では126万円、3人分を見てございましたけれども、出産件数がゼロ件ということで未執行となつてございません。

それから、5項葬祭諸費の19節、5万円は、葬祭費5件分でございます。

それから、3款後期高齢者支援金等で、151ページになりますけれども、19節で4,261万5,667円。

4款前期高齢者納付金等は、4万1,682円。

5款老人保健拠出金については2,226円。

それから、介護保険給付費納付金が1,850万5,806円で、前年度から見ると198万8,296円ほどふえてございます。

それから、共同事業拠出金につきましては1,716万9,785円。前年度から見ると、114万4,000円ほど減額になってございます。

それから、保険財政共同安定化事業拠出金でありますけれども、4,897万7,469円で、前年度から見ると185万4,000円ほど落ちてございます。

それから、8款保健事業費1項の特定健康診査等事業費、223万8,912円であります。委託料で193万7,359円。これは、健診253人分187万285円が主なものでございます。ちなみに、特定健診受診率の見込みについては、目標45%ですけれども、46.3%の見込みでございます。それから、18節備品購入費11万6,865円は、健診用データの管理用のパソコン1台でございます。

2項保健事業費、130万4,500円でございます。これについても、155ページ、13節委託料74万9,758円ですが、これは共同電算処理、それと40歳未満の健診18名分、それからインフルエンザ予防接種151名、それから健康教室8回、ふれあいの広場ステージ設置・撤去などが内容でございます。

それから、9款諸支出金、3,128万8,483円。まず、1目の償還金23節償還金利子及び割引料1,514万483円、これは平成24年度の療養給付費等の交付金の精算に伴う返還でございます。まず支払基金に151万6,522円、同じく国へ1,347

万6,561円となります。それから、国保税の還付が7人、11万1,300円、国保税の還付加算金が19人、3万6,100円が内訳でございます。

それから、3項の繰出金28節繰出金1,614万8,000円。これは、直診会計への繰出金でございます。へき地診療所運営費が1,465万7,000円、医療機器整備分で149万1,000円でございます。

それから、10款予備費300万円については未執行でございます。

歳出合計、予算額4億6,601万6,000円に対し、支出済額4億5,297万3,239円、不用額が1,304万2,761円で決算を終えております。ちなみに、予算流用件数はございません。

○議長（宮川 寛君） 2時15分まで休憩いたします。

休憩 午後 1時57分

再開 午後 2時14分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第65号平成25年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について御説明を申し上げます。

182ページをお開きください。

説明資料でありまして、第1表、平成25年度の歳入歳出決算の総括であります。

予算額4億873万5,000円に対して、歳入決算額が4億1,310万6,053円、歳出が4億175万2,715円、差し引き1,135万3,338円が平成26年度への繰り越しとなります。歳入の収納割合は予算に対して101.1%、それから歳出の執行率が98.3%となっております。

第2表、歳入実績の平成24年度との比較でありまして、診療収入が2億1,024万9,348円で、平成24年度から見ると233万3,539円の増となっております。一般会計繰入金1億8,053万3,000円で、151万円ほど前年度から見るとふえております。

次、歳出、184ページ、第3表になります。

2の医業費、平成25年度分が1億2,774万370円ということで、前年度から見ると610万6,230円ほどふえてございます。3の公債費については、2,995万8,610円で、92万468円ほど落ちてございます。

第4表が診療収入収納状況調でございます。

入院については、国保診療報酬分が138万2,378円、前年度から見ると339万9,000円ほど落ちてございます。それから、外来については3,567万1,134円で、前年度から見ると12万9,000円ほど落ちてございます。

それから、社会保険診療報酬については56万6,445円で、前年度から見ると35万4,000円ほど増収となっております。それから、外来については1,822万41

円で、前年度比5,400円ほど落ちてございます。

それから、後期高齢者診療報酬ですが、1,669万8,562円、前年度から見ると66万円ほどふえてございます。外来については、8,647万3,270円で、前年度から見ると530万5,000円ほどふえてございます。

介護報酬は、入院はゼロですけれども外来で72万3,628円、30万5,000円ほど前年度から見るとふえております。

一部負担金、入院については186万6,110円、12万6,000円ほど前年度より増。それから、外来については2,832万7,701円、前年度から100万5,000円ほどふえてございます。

それから、標準負担額64万3,750円、前年度から見ると13万5,000円ほどふえてございます。

合計、入院については2,115万7,245円、212万2,000円ほど落ち込んでございますが、外来の収入済額1億7,335万9,730円、前年度から見ると652万9,000円ほどふえてございます。

第5表が経費別の支出内訳表でございます。この表については、参考にしていただきたいと思えます。

第6表は、患者数及び職員数等調でございます。

入院については、平成25年度、合計で患者数が1,234、1日当たり3.4人でございます。それから、外来については、患者数が1万4,880人で697人ほど、前年度から見ると患者数の増となっています。1日当たり60.7人となっております。

次のページは、職員数調、患者1人1日当たりの診療収入、患者1人1日当たりの薬品費、それから診療収入に対する投薬等の収入割合の資料でございます。

それでは、166ページをお開きください。

166ページ、歳入ですけれども、資料36-1、2に診療所の運営状況調を資料としてつけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思えます。

1款診療収入、収入済額が2億1,024万9,348円、1項の入院収入が2,115万7,245円であります。内訳については、ただいま説明資料で説明した内容でございますので省かせていただきます。なお、一部負担金収入で、前年度に収入未済額が2万4,070円ございましたが、この2節の過年度分2万4,070円、全額入ってございます。それから、標準負担額収入においても、前年度において、現年度分で5,250円の未収がありましたけれども、過年度収入として5,250円、収入として入ってございます。

それから、2項外来収入、1億7,335万9,730円であります。内訳については、先ほど資料で説明したとおりですので省かせていただきますが、5目の一部負担金収入で前年度3万5,580円の未収がございました。1節の医療給付現年度分で1万6,160円、それから3節医療給付過年度分で1万9,250円ございました。これを合わせて、

一部負担金収入で3万5,580円未収でございましたけれども、医療給付過年度分として3万5,580円、全額収入済でございます。

それから、6目のその他診療報酬収入で、前年度において現年度分で4万1,420円未収がございましたけれども、過年度として4万1,420円、全額収入済でございます。

それから、2款の使用料及び手数料、120万1,653円でございます。行政財産使用料3万6,953円は、自動販売機の使用料でございます。それから、手数料で文書料89万1,700円でございますが、昨年度は未収が1件ございましたけれども、収入済でございます。

3款道支出金の施設管理費補助金85万円は、内視鏡の補助金でありまして、2分の1分でございます。

それから、4款財産収入の土地建物貸付収入は、医師住宅、医療職員住宅の貸付収入でございます。

5款繰入金、1億8,053万3,000円でございます。

次のページ、一般会計からの繰入金、1億6,438万5,000万円ですが、起債償還分が2,995万9,000円、医療機器整備分が151万円、財政対策分が1億3,291万6,000円の内訳でございます。

それから、国保会計からの繰入金1,614万8,000円ですが、へき地診療所運営分で1,465万7,000円、医療機器整備分で149万1,000円です。

それから、前年度繰越金が1,508万2,065円。

7款諸収入の1目雑入1節の私用電話料7,280円、2節雑入で464万7,807円。内訳としては、嘱託医報酬が294万円、社会保険料個人負担分が82万3,747円、患者外給食代が63万1,300円、医療器具の使用料が20万6,230円、合わせて460万1,277円が主なものでございます。

歳入合計、予算額4億873万5,000円に対して収入済額が4億1,310万6,053円で、収入未済額はゼロの決算でございます。

次のページ、歳出に移ります。

1款総務費の1目一般管理費、2億4,317万7,945円。このうち、職員手当等で197万6,320円の不用額がございますが、宿直手当で114万円、時間外勤務で49万8,353円、勤勉手当で27万2,810円が主な不用額でございます。それから、7節の賃金、不用額145万9,019円ですが、内訳としては、臨時看護師分が61万6,299円、臨時調理員分が75万1,236円、臨時看護補助員分が9万1,480円が主なものでございます。それから、11節需用費で52万9,290円の不用額がございますが、消耗品費で13万2,000円ほど、燃料費で34万1,000円ほどが主な要因でございます。13節委託料で55万6,065円の不用額がございますが、医療機器保守で16万3,290円、清掃業務で6万2,000円、医療事務で25万2,500円

が主なものでございます。18節備品購入費で53万250円、これは表もでございますが、電算機器、パソコン2台分でございます。

それから、2項の研修費、87万5,790円です。1目の研究研修費9節の旅費で54万6,540円の普通旅費の不用額が出ております。

それから、2款医業費1億2,774万370円で、1項の医業費1億2,540万7,879円です。1目医療用機械器具費、備品購入費で、表に記載のとおり、内視鏡殺菌機、医用テレメーター、気管支スコープ、合わせて468万3,000円が備品費528万6,740円の中に入っております。

それから、2目の医療用消耗器材費903万2,732円については、例年と同様の執行でございます。

それから、3目の医薬品費1億837万6,207円ですが、内訳として、一般の薬が1億514万4,659円、予防接種用のワクチンが174万9,396円、血液製剤が148万2,152円となっております。

それから、4目の検査費は例年どおりの執行となっております。

5目の寝具費17万2,156円も例年と同様であります。

2項給食費、233万2,491円。18節備品購入8万1,400円で、電気ポット1台、炊飯器2台の購入をしております。

それから、給食賄材料費、203万212円。

それから、3款公債費で、元金でございます。償還金元金が2,883万1,940円、利子が112万6,670円。元金で60万6,091円、前年度より減額。それから、利子についても31万4,377円減額となっております。

4款予備費については、未執行でございます。

歳出予算4億873万5,000円に対して、支出済額が4億175万2,715円、不用額が698万2,285円、流用が3件、145万9,431円で歳出の決算を終えてございます。

180ページ、実質収支に関する調書でございます。

歳入総額4億1,310万6,000円、歳出総額4億175万3,000円、差し引き1,135万3,000円。実質収支が1,135万3,000円でございます。

以上で議案第65号の説明を終わりました、次、議案第66号の説明に移ります。

議案第66号平成25年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、御説明を申し上げます。

説明資料の202ページをお開きください。

202ページ、第1表は歳入歳出決算の総括であります。

予算額1億6,649万円に対して、歳入決算額が1億6,625万1,351円、歳出が1億6,250万5,762円で、差し引き374万5,589円が平成26年度への繰越金となります。歳入割合は99.9%、歳出の執行率は97.6%でございます。

第2表が歳入の実績比較表でして、まず使用料及び手数料で、収入済額が5,123万5,760円、収入未済額で3件、1万1,510円あります。一般会計からの繰入金9,447万円、町債が平成25年度において1,580万円ほどございます。収入済額が1億6,625万1,351円となります。

この会計でも一般会計からの繰入金が56.8%を占めておりまして、その次に水道の使用料関係が30.8%と、2番目になっております。

204ページ、歳出実績表であります。

総務費、施設費、公債費とございますが、公債費で平成25年度が1億942万6,814円であります。平成24年度と比較しますと、319万7,815円減額となっております。合計、歳出が1億6,250万5,762円となります。

それから、第4表は水道使用料徴収実績でありまして、陸別地区が、収入済額が5,114万7,760円。内訳として、一般用が3,738万4,750円、営業用が315万2,370円、事業用が623万5,200円、団体用が380万200円、浴場営業用が51万6,040円、臨時用が5万9,200円となっております。なお、臨時用については9件でございます。

それから、用途別給水戸数、3月末ですけれども、一般用が1,017戸、前年度から見ると22戸減ってございます。営業用は28戸、前年度と同じです。事業用で45戸、前年度より1戸落ちてございます。合わせて1,097戸、前年度から見ると23戸減となっております。

それから、206ページは給水状況調べでございます。

4月から3月、給水量が29万5,329立方メートル、1日平均給水量が809立方メートル、給水人口は2,300人、1人1日平均の給水量が352リットルでございます。

給水量については、前年度から見ると7,033立方メートルの減、1日平均給水量も前年度から見ると19立方メートルの減、給水人口については47人の減、1人1日平均給水量については、前年度に比べると1リットルの減となっております。

それでは、歳入の192ページをお開きください。

歳入。

1款の使用料及び手数料1目の水道使用料、5,114万7,760円。未収が1万1,510円、3件ございましたが、8月末までに全額収入済でございます。

それから、水道手数料、設計手数料8万8,000円。これは、新設工事の分が7件、その他工事が8件、8万8,000円でございます。

それから3款繰入金、一般会計からの繰入金9,447万円。これは、建設改良分が5,754万円、高料金対策が3,075万8,000円、財政対策分が617万2,000円でございます。

それから、前年度繰越金が404万1,873円でございます。

それから、5款の諸収入1節の雑入70万3,718円は、下水道料金事務負担金でございます。

それから、6款町債、簡易水道事業債1,580万円で、これは配水管整備に充てるものでして、過疎債が150万円、簡易水道事業債が1,430万円でございます。

合計、予算額1億6,649万円に対して、収入済額が1億6,625万1,351円で、収入未済額が1万1,510円、これは既に8月までに入金済みでありますけれども、以上で決算を終えてございます。

次、196ページ、歳出ですが、1款総務費の1目一般管理費1,765万2,263円。前年度から見ると、534万8,800円ほどふえてございます。大きな要因とすれば、公課費617万7,400円、前年度から見ると580万6,200円ほどふえてございます。これは、消費税の関係でございまして、平成24年度確定分が399万4,600円、平成25年度中間納付額が218万2,800円の内訳となっております。この公課費の増額が一般管理費がふえている要因でございます。

それから、2款の施設費、施設維持費1,941万6,560円。196ページの表にあります水道メーター更新、施設設備改修が主な内容でございます。需用費で32万1,507円の不用額がございしますが、これは燃料費28万4,291円が主なものでございます。

前に戻りまして、職員手当等で41万7,750円の不用額がございしますが、これは時間外勤務手当の39万8,451円が主なものでございます。

それから、委託料、93万5,143円の不用額がございしますが、管路等の修繕48万4,000円、メーター取りかえで19万3,000円、施設保全作業14万9,700円、施設設備の改修8万8,000円が主な内容でございます。

199ページ、18節備品購入費で347万4,030円。これは、水道メーター更新に168戸分、それから新設のメーター18戸分の347万4,030円でございます。

2目施設新設改良費、1,601万125円。ここでふえておりますのは、工事請負費1,453万2,000円でございます。これは、元町地区の配水管新設の測量に委託料が147万2,625円でございます。それから、工事請負費1,453万2,000円は、この表に記載の三つの工事費の合計1,453万2,000円となります。

それから、3款公債費1目元金23節償還金利子及び割引料、7,520万5,738円。これは元金でございます。前年から見ると、82万7,495円の減。

それから、利子では、3,422万1,076円、前年から見ると237万円ほどの減額となっております。

4款予備費は未執行でございます。

歳出総額1億6,649万円の予算に対して、支出済額が1億6,250万5,762円、不用額が398万4,238円、流用はございません。

以上で歳出の決算は終えております。

200ページ、実質収支に関する調書であります。

歳入総額1億6,625万1,000円、歳出総額1億6,250万5,000円、差し引き374万6,000円。実質収支が同額の374万6,000円であります。

以上で議案第66号の説明を終わりました、次、議案第67号の説明に移ります。

議案第67号平成25年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、説明を申し上げます。

説明資料220ページをお開きください。

220ページ、第1表、歳入歳出決算の総括であります。

予算額1億2,530万8,000円に対して、決算額、歳入1億2,525万8,988円、歳出決算額が1億2,319万5,819円で、差し引き206万3,169円が平成26年度への繰越金となります。予算に対する歳入は100%、歳出の執行率は98.3%でございます。

それから、第2表の歳入実績最近年度比較表でございます。

2款の使用料及び手数料、収入済額が2,401万2,070円、収入未済が2件6,350円です。

それから、4の繰入金8,322万2,000円で、前年度比416万4,000円の減となっております。

合計、歳入、収入済額が1億2,525万8,988円となります。

それから、第3表、222ページは歳出の比較表であります。

事業費において、平成25年度1,949万2,995円、前年度比1,527万7,819円の増でございます。公債費においては、5,417万9,800円で、前年度と比べると580万3,819円の減となっております。合計支出済額が1億2,319万5,819円、前年度から見ると1,002万5,439円の増となります。

223ページ、下水道使用料徴収実績調でございます。

陸別処理区で収入済額2,394万8,070円、未収が6,350円でございます。内訳として、一般用が2,362万520円、前年度から見ると10万5,560円の減でございます。公衆浴場が32万7,550円、前年度から見ると9,100円ほどふえてございます。合計2,394万8,070円。

処理状況、3月末現在ですが、処理人口が1,965人、前年度から見ると30人ほど落ちてございます。水洗化人口1,726人、前年から見ると19人ほど落ちております。水洗化率87.8%、前年から見ると0.3ポイント上がってございます。

それでは、歳入の210ページをお開きください。

歳入。

1款分担金及び負担金です。これは40万円。平成24年度分が8戸20万円、それから平成25年度分8戸20万円でございます。

下水道使用料が2,394万8,070円。6,350円の未収ですが、8月末までに全

額収入済でございます。

下水道手数料が6万4,000円。新設工事6件、その他工事審査4件でございます。

それから、下水道事業補助金627万3,750円。これは、社会資本整備交付金の下水道長寿命化基本計画策定202万1,250円、それから元町1号通りの補助金、これも2分の1分ですけれども、425万2,500円となります。

それから、一般会計繰入金は8,322万2,000円。内訳として、建設改良分が693万7,000円、財政対策分が7,628万5,000円でございます。

前年度繰越金が235万1,168円。

下水道事業債900万円で、過疎債が90万円、下水道事業債が810万円でございます。

歳入合計1億2,530万8,000円の予算に対して、収入済額1億2,525万8,988円、収入未済額6,350円、これは既に収納済みでありますけれども、以上で歳入の決算を終えております。

次、歳出。

1款総務費1目の一般管理費1,029万6,353円。これは、職員人件費が主なものでございますが、214ページの表、施設維持管理ということで、各事業を記載しております。27節の公課費34万3,300円、これは消費税ですけれども、平成24年度確定分の金額でございます。

それから、2款施設費の施設維持費3,922万6,671円。増の要因は、737万3,264円、310万7,000円ほどふえておりますが、この表の中の3行目の浄化センター2系最終沈殿池機械設備修繕、その下の水流量計修繕、天窓雨漏り修繕、この三つ、326万2,350円が増の要因でございます。

それから、216ページ、3款事業費、下水道建設費でございます。1,949万2,995円で、前年度から見ると1,527万7,000円ほどふえてございます。大きいものとして、工事請負費で1,285万2,000円、前年度から見ると1,195万9,000円ほどふえております。それと、委託料も648万6,375円で、333万6,375円ふえております。委託料の増額の要因としては、この表の中の一番上の長寿命化策定委託業務404万2,500円、それから元町地区の測量設計141万4,875円、公共下水道污水管渠地質調査が102万9,000円でございます。それから、工事請負費は、その下の公共下水道污水管渠新設工事850万5,000円、その下の236万2,500円、その下の198万4,500円でございます。

4款公債費は、償還元金で、償還金利子及び割引料で4,230万8,555円、499万8,000円ほど前年度からの減。

それから、利子で1,187万1,245円。前年度から見ると、80万5,000円ほど減となっております。

5款予備費は、未執行でございます。

歳出総額1億2,530万8,000円の予算に対して、支出済額が1億2,319万5,819円、不用額211万2,181円で歳出を終えてございます。

予算流用はございません。

次のページ、218ページです。

実質収支に関する調書。

歳入総額1億2,525万9,000円、歳出総額1億2,319万6,000円、差し引き206万3,000円。実質収支が206万3,000円となります。

以上で議案第67号を終わりました、次、議案第68号に移ります。

議案第68号平成25年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、説明を申し上げます。

決算書の252ページをお開きください。

252ページは、第1表、歳入歳出決算の総括でありまして、予算額2億5,628万7,000円に対して、歳入決算額2億5,679万5,160円、歳出決算額2億5,091万1,722円、差し引き588万3,438円が平成26年度への繰越金となります。予算に対する決算額の比率、歳入については100.2%、歳出については97.9%の執行率でございます。

第2表については、歳入実績表でございます。

まず、介護保険料、平成25年度においては3,235万5,154円、不納欠損が8万9,100円、これは2件分でございます。収入未済額21万7,233円、これは4件分でございます。それから、一般会計からの繰入金4,823万9,000円。繰越金が平成25年度1,081万6,808円と、394万5,727円ほどふえてございます。合計で2億5,679万5,160円。前年度から見ると、2,195万6,916円収入増となっております。

それから、第3表、歳出実績でございます。

2の保険給付費で2億2,850万8,380円、前年度から見ると1,895万3,443円の増。

それから、地域支援事業費につきましては、230万3,183円で、90万8,268円の減額。

それから、基金積立金、1,254万1,308円で、1,134万8,929円の増となります。

合計2億5,091万1,722円、前年度比2,689万286円の増となります。

それから、第4表、介護保険料の収納額調ですが、平成25年度調定額3,249万3,187円に対して3,235万5,154円の収入、収入未済額が現年度分で13万8,033円、これは5人の5件でございます。それから、滞納繰越分で調定額16万8,300円、収入済額はございません。不納欠損で8万9,100円の2件、収入未済額で2人2件7万9,200円となります。

それでは、230ページ、歳入をお開きください。

歳入になります。

介護保険の実施状況については、資料ナンバー37-1、2につけておりますので、後ほどごらんをいただきたいと思います。

1款の介護保険料ですが、現年度分で3,235万5,154円、収入未済額、現年度分13万8,033円で、5人5件分でございます。滞納繰越分で不納欠損が8万9,100円、2人2件、収入未済が7万9,200円で2人2件でございます。合わせて収入未済額21万7,233円、7人7件分、不納欠損が8万9,100円で、2人2件でございます。

被保数ですが、平成25年4月1日では924人でありました。平成26年3月31日では927人ということで、年度当初から見ると、年度末で3人ふえていることとなります。

それから、2款国庫支出金、介護給付費負担金、現年度分で3,956万2,415円、過年度分で91万3,499円です。

国庫補助金、調整交付金1,994万8,000円。

地域支援事業交付金67万3,595円。これは、介護予防で21万4,999円、包括的支援事業、任意事業、合わせて45万8,596円となります。

それから、事業費補助金12万6,000円。これは、システム改修補助金でございます。

それから、3款道支出金で介護給付費負担金、現年度分が3,164万9,616円、過年度分が255万9,241円となります。

それから、道補助金、地域支援事業交付金、現年度分33万6,797円。これは、介護予防事業で10万7,500円、包括的支援事業、任意事業で32万9,297円となります。

4款支払基金交付金、介護給付費交付金、現年度分が6,662万円、過年度分が186万1,932円。

地域支援事業支援交付金で現年度分56万2,000円。これは、介護予防事業の交付金になります。

それから、5款の財産収入1目の利子及び配当金1節の利子及び配当金7,383円は、基金利子でございます。平成25年度末現在で、基金は1,811万3,515円の残高となります。

6款繰入金、一般会計繰入金で介護給付費繰入金が2,893万7,000円、事務費繰入金が520万円、地域支援事業繰入金が34万5,000円となっております。

それから、基金繰入金、これは基金を取り崩した金額ですが、1,375万7,000円。

前年度繰越金が1,081万6,808円となります。

8款諸収入ですが、3項の雑入56万3,720円。

4目の雑入1節雑入で56万3,720円。これは、介護扶助の審査判定業務費、国保連から入ってくる金額56万3,720円であります。

歳入総額2億5,628万7,000円の予算に対して、調定額2億5,710万1,493円、収入済額が2億5,679万5,160円、不納欠損額が8万9,100円、収入未済額が21万7,233円で決算を終えてございます。

次、歳出、238ページになります。

1款総務費、一般管理費37万1,409円。前年度から見ると、23万6,282円ほどふえてございます。これは、19節負担金補助及び交付金の25万2,000円、表にもございますが、介護保険電算システム改修25万2,000円、これが増の要因でございます。

それから、賦課徴収費、介護認定審査会費、これらについては例年どおりの執行となっております。

2款保険給付費2億2,850万8,380円。前年度から見ると、1,895万3,443円の増となっております。

1項介護サービス等諸費1目の居宅介護サービス給付費19節、1億1,219万3,487円ですが、第5期計画で、平成25年度分ですが、延べ利用者が1,223人と見ておりましたけれども、実績として1,211人で、12名の減となります。

それから、2目居宅介護サービス計画給付費678万4,650円。平成25年度延べ利用者は、514名でございます。

それから、3目施設介護サービス給付費8,579万1,150円。第5期計画の324人の見込みですが、実質352人、28名の増でございます。

それから、4目居宅介護福祉用具購入費、19節、40万9,410円。これは、12件見込みでしたが、10件で終わりでございます。マイナス2件。

それから、5目居宅介護住宅改修費83万2,279円。これは、第5期計画では12件と見込んでおりましたが7件と、マイナス5件でございます。

それから、2項の介護予防サービス等諸費、1目介護予防サービス給付費、19節ですが、739万3,365円。延べ利用者を368人と見込みましたが、実績として280人、88人の減でございます。

それから、2目介護予防サービス計画給付費、19節、82万8,160円。利用者は194名でございます。

それから、3目介護予防福祉用具購入費、243ページですが、14万4,925円。8件と見込んでおりましたが実績は5件、マイナス3件でございます。

4目介護予防住宅改修費21万5,100円。12件と見込んでおりましたが3件、マイナス9件でございます。

それから、4項の高額介護サービス等費1目の高額介護サービス費19節452万1,

513円。これは、実人員48名分。

それから、その下、高額介護予防サービス費、19節、2,741円。これは、実人員1名分でございます。

それから、5項の高額医療合算介護サービス等費1目の高額医療合算介護サービス費19節、100万2,876円。これは、実人員で40名分でございます。

それから、6項の特定入所者介護サービス等費1目の特定入所者介護サービス費ですが、19節で820万2,510円。実人員で294名分でございます。

3目の特定入所者介護予防サービス費1万2,270円。これは、実人員3名分でございます。

3款の地域支援事業費1項の介護予防事業費1目一次予防事業費、2目の二次予防事業費は、例年どおりの執行状況でございます。ただ、一次予防事業費の8節報償費10万9,080円は、介護予防教室、健康講座9回分、それから13節委託料11万9,580円、これは社協に委託しておりますけれども、介護予防の普及啓発事業、ふまねっと運動82回分の委託料でございます。

それから、2項の包括的支援事業費、1目介護予防ケアマネジメント事業費で86万2,033円。13節委託料で55万4,360円。これは、介護予防サービス計画の関係でして、北勝光生会に22件、社協に103件、町外の機関に6件で、合わせて131件分でございます。

それから、2目の任意事業費59万2,164円。委託料56万5,668円。社協に、地域支援事業として介護用品給付事業18万4,300円、同じく社協に食の自立支援事業28万1,368円、それからNPOに介護教室等開催事業10万円の委託料でございます。

それから、4款基金積立金は1,254万1,380円。

それから、5款諸支出金の1項償還金及び還付加算金1目の第1号被保険者保険料還付金23節、1万9,800円。これは、平成24年度の6人分の保険料還付でございます。

それから、2目の介護給付費負担金等返還金23節、361万7,555円。これは、平成24年度の介護給付費、それから地域支援事業費の確定に伴う国、道、支払基金、一般会計への返還金でございます。国に20万8,015円、北海道に22万1,915円、支払基金に50万6,096円、町へ268万1,529円の返還の内訳でございます。

6款予備費については、未執行でございます。

歳出予算2億5,628万7,000円に対して、支出済額が2億5,091万1,722円、不用額537万5,278円で歳出の決算を終えてございます。

250ページは、実質収支に関する調書でございます。

1、歳入総額2億5,679万5,000円、2の歳出総額2億5,091万2,000円、差し引き588万3,000円。実質収支額588万3,000円でございます。

以上で議案第68号を終わりました。次、議案第69号の説明に移ります。

議案第69号平成25年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について説明いたします。

270ページをお開きください。

第1表は歳入歳出決算の総括でありまして、予算額3,750万9,000円に対して、歳入決算額が3,710万3,880円、歳出決算額が3,710万3,880円で、差し引き収支ゼロの決算でございます。収入については98.9%、歳出の執行率は98.9%でございます。

第2表、保険料収納額調については、平成25年度2,138万4,200円、調定と収入済額は同額でございます。

271ページ、第3表は歳入実績表でございます。

後期高齢者医療保険料が2,138万4,200円、繰入金が1,509万5,443円、諸収入で30万350円、広域連合の支出金が32万3,887円、合わせて3,710万3,880円です。

第4表は歳出の実績表です。

広域連合納付金が3,542万6,762円であります。合計3,710万3,880円でございます。

258ページ、歳入をお開きください。

歳入でございますが、説明資料ナンバー38に決算フロー図をつけてございます。一般会計と後期高齢者医療特別会計との会計間の予算、決算の流れを記載したものを付けておりますので、ごらんをいただきたいと思っております。

1款の後期高齢者医療保険料で特別徴収保険料、現年分が1,272万9,000円ですが、普通徴収保険料187人、現年分で865万5,200円。特別徴収のほうは464人です。普通徴収が182人ですけれども、重複している方が56名ほどございます。

それから、被保数ですが、平成25年度当初においては563人、平成25年度末においては570人ということで、7名ほど被保数がふえている状況でございます。

3款繰入金です。1項他会計繰入金、1目事務費繰入金242万8,881円。広域連合事務費137万6,000円、町単独分で105万2,881円となっております。内訳としては、インフルエンザ予防接種分が69万8,530円、それから事務費分が35万4,351円となります。

それから、2目保険基盤安定繰入金1,266万6,562円。北海道分949万9,921円、これは4分の3分です。それから町分4分の1分が316万6,641円の内訳でございます。

5款諸収入では、30万350円で、1項の延滞金及び過料1目の延滞金ではゼロ。

それから、2項償還金及び還付加算金1目の還付加算金1節の還付加算金で2万8,1

00円。平成24年度分の、広域連合から11名分の歳入でございます。

それから、2目保険料還付金が8万6,600円。これも同様に、広域連合から9名分でございます。

それから、3項の雑入1目の雑入ですが、18万5,650円。健診個人負担分が23人分1万1,500円、広域連合から健診委託料17万4,150円の内訳です。

それから、6款の広域連合支出金ですが、1節広域連合交付金32万3,887円は、円滑運営臨時特例交付金、広報用として7万3,887円、すこやか推進事業補助金、これはインフルエンザ予防接種の補助ですが25万円となっております。

歳入合計、予算3,750万9,000円に対して、調定額3,710万3,880円、収入済額も100%収入で3,710万3,880円の決算でございます。

次に、歳出、264ページですけれども、1款総務費1目の一般管理費156万2,418円。この中で13節委託料106万8,084円ですが、インフルエンザ予防接種で92万円、368人分、それから健診13万7,310円、24人分、電算処理で1万774円の内訳でございます。

2款の後期高齢者医療広域連合納付金、19節ですが、3,542万6,762円。これは、保険基盤安定分で1,266万6,562円、事務費分で137万6,000円、保険料分で2,138万4,200円の内訳となっております。

3款諸支出金の1項償還金及び還付加算金1目の保険料還付金、23節、8万6,600円は9人分、それから、2目の還付加算金は2万8,100円、11人分。これは、歳入同額でございます。

4款予備費は、1件、2万7,100円の充当でございます。

歳出合計、予算3,750万9,000円に対して、支出済額が3,710万3,880円、不用額40万5,120円で決算を終えてございます。

予算流用はございません。

268ページ、実質収支に関する調書であります。

1、歳入総額3,710万3,000円、2、歳出総額3,710万3,000円、差し引き金額はゼロ。したがって、実質収支もゼロ円でございます。

以上で、議案第63号から議案第69号までの説明を終わらせていただきます。

以後、御質問によってお答えをしたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○議長（宮川 寛君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでした。

平成25年度各会計の決算について、監査委員の意見書が配付されておりますが、代表監査委員が出席されておりますので、意見書の内容に不明な点などがあれば、この際、質疑を許します。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(宮川 寛君) 質疑なしと認め、監査委員に対する質疑を終わります。

平成25年度各会計の決算認定にかかわる質疑、討論、採決は、本定例会初日の決定のとおり、第16日目の9月24日以降に行います。

◎延会の議決

○議長(宮川 寛君) これで、本日の日程は終了いたしました。

これにて延会したいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎延会宣告

○議長(宮川 寛君) 異議なしと認め、これにて延会いたします。

延会 午後 3時15分